

## 2024年5月新聞書評に掲載された本



### 夜露がたり

砂原 浩太郎 著

新潮社

追い詰められ女と男は危うい橋を渡ろうとする。「あの場所の生まれでなければ」と呪い、「死んどくれよ」と言葉の礫をぶつけながら、その願いが叶いそうになると惑う...。全8編を収録。『小説新潮』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/05/05

2024:2./ 250p  
978-4-10-355531-5

¥1,925 [税込]



9 784103 555315



### 台湾の妖怪図鑑

何 敬堯／魚農 著

原書房

台湾の妖怪はどんな名前? どんな姿? どこで何をしているの? 台湾全土を渡り歩き地元の人や原住民に丁寧な聞き取りを続けてきた著者が、108の妖怪をイラストとともに解説。台湾の妖怪芸術や妖怪研究についても考察。

産経新聞 2024/05/05

2024:4./ 277p  
978-4-562-07406-8

¥3,960 [税込]



9 784562 074068



### デジタル時代の恐竜学(インターナショナル新書 138)

河部 壮一郎 著

集英社インターナショナル

X線CTスキャナーを用いた恐竜化石の解析、フォトグラメトリと3Dプリンターを用いてイギリスにある恐竜骨格を福井で作製したプロジェクト...。デジタル機器の活用により、大きく様変わりした恐竜研究の最前線を紹介する。

産経新聞 2024/05/05

2024:4./ 222p  
978-4-7976-8138-3

¥990 [税込]



9 784797 681383



### 離島建築～島の文化を伝える建物と暮らし～(味なたてもの探訪)

箭内博行 著

トゥーヴァージンズ

鯨漁の繁栄を語る和洋折衷の不思議な建物、唯一無二の石造り集落、佐渡に残る元妓楼旅館...。東西南北に点在する日本の100の島の150以上の建造物を通して、島特有の文化や暮らし、住人のストーリーを写真とともに紹介。

産経新聞 2024/05/05、毎日新聞 2024/05/11

2024:4./ 191p  
978-4-908406-95-9

¥2,200 [税込]



9 784908 406959

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2024年5月時点での税込み価格です。



## 二〇世紀の思想・文学・芸術～徹底討議～

松浦 寿輝／沼野 充義／田中 純 著

講談社

世界大戦、革命と共産主義、情報テクノロジーの進展…。1901年に始まり2000年に終わった「二〇世紀」の全体をめぐり、思想・文学・芸術の諸領域を横断しつつ、主要な問題点の在り処を論じる。『群像』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/05/05、毎日新聞 2024/05/25

2024:3./ 662p,31p  
978-4-06-534883-3

¥4,620〔税込〕



## こまどりたちが歌うなら

寺地 はるな 著

集英社

親戚の伸吾が社長を務める小さな製菓会社に転職した茉莉。サービス残業や女性スタッフによるお茶くみなど、会社の中の「見えないルール」が見過ごせず、声をあげていくが…。『小説すばる』連載を改題、加筆・修正。

産経新聞 2024/05/12

2024:3./ 226p  
978-4-08-771864-5

¥1,870〔税込〕



## あなたの迷宮のなかへ～カフカへの失われた愛の手紙～(CREST BOOKS)

マリ＝フィリップ・ジョンシュレー 著

新潮社

カフカの恋人として知られるチェコ人女性ミレナ。失われてしまったミレナからの手紙には何が書かれていたのか。別離後もカフカを慕い続け、強制収容所で絶命した女性の魂を、現代の作家が甦らせる。

産経新聞 2024/05/12

2024:2./ 303p  
978-4-10-590193-6

¥2,640〔税込〕



## それは令和のことでした、

歌野 晶午 著

祥伝社

新しい価値観のゆらぎが生み出す7つの悲劇。1行を読み逃せば、謎の迷宮から出られない。著者の企みに舌を巻く、哀しみと可笑しみの令和ミステリー作品集。『小説NON』連載他に書下しを加え単行本化。

産経新聞 2024/05/12

2024:4./ 388p  
978-4-396-63661-6

¥2,090〔税込〕



## 耳をすませば

チョ・ナムジュ／小山内 園子 著

筑摩書房

抜群の聴力を持つ少年。衰退する市場の起死回生を図る店主。業界での生き残りを賭けるTVディレクター。三者三様の悲喜こもごもは、壮大なサバイバルゲームへとなだれ込み…。著者インタビューも収録。

産経新聞 2024/05/12

2024:3./ 317p  
978-4-480-83220-7

¥1,870〔税込〕





### 農家の法律相談～よくあるトラブル Q&A～<続>

馬奈木 昭雄 著

農山漁村文化協会

農地、作物、農作業、隣近所、組合、相続、契約事…。農家・農村に関するトラブルや悩みごとに、わかりやすく丁寧に答えるとともに、裁判沙汰などにならなくて済むヒントも述べる。『現代農業』の連載を加筆修正して書籍化。

産経新聞 2024/05/12

2024:2./ 319p  
978-4-540-23190-2

¥2,200〔税込〕



### ねじれた空を背負って

たかとう匡子 著

思潮社

さっきからの雨はいつそう勢を増している 打たれて からだ揺らぎ 傾いだとたん 立ち往生 蜜柑の果肉にもぐり込んだのも束の間 新聞紙のように折りたたまれて うつつの彼方は難問づくめ(「わがアポリア」より) 詩集。

産経新聞 2024/05/12

2024:3./ 124p  
978-4-7837-4559-4

¥2,750〔税込〕



### あかるい花束

岡本 真帆 著

ナナロク社

幸福な沈黙そして幸福な顔きあいの真ん中にパフェ 故郷から離れた街で見る山が地元のようにたのもしくいる 2022年2月から2024年2月までに、東京と高知を往来する中で詠んだ266首を収録する。

産経新聞 2024/05/12

2024:3./ 173p  
978-4-86732-027-3

¥1,870〔税込〕



### うらはぐさ風土記

中島 京子 著

集英社

離婚を機にアメリカから帰国し、東京都下でひとり暮らしを始めた沙希が出会ったのは、この地に縁のある一風変わった人々で…。町なかの四季やおいしいごはんを描く長編小説。『小説すばる』連載を単行本化。

産経新聞 2024/05/19

2024:3./ 273p  
978-4-08-771859-1

¥1,870〔税込〕



### 清代知識人が語る官僚人生(東方選書 62)

山本英史 著

東方書店

清代の知識人がめざした官僚人生とは何だったのか。科挙に合格して知県という県の長官を担当し、役人のためのハンドブック「福恵全書」を著した黄六鴻の視点で、「順調な官僚人生」を歩むのに重要だったことについて語る。

産経新聞 2024/05/19

2024:4./ 6p,285p  
978-4-497-22405-7

¥2,640〔税込〕





### 民間軍事会社～「戦争サービス業」の変遷と現在地～(平凡社新書 1057)

菅原 出 著

平凡社

世界各国の政府や軍、グローバル企業などからの要請を受けて、軍事や安全保障サービスを提供する「民間軍事会社」。戦闘員の訓練、戦略アドバイスから要人の警護に至るまで、謎のベールに包まれた業界の全貌を明らかにする。

産経新聞 2024/05/19

2024:4./ 254p  
978-4-582-86057-3

¥1,155〔税込〕



### 憲法一代記～世界 195 か国の憲法を研究した私の履歴書～

西修 著

育鵬社

ネットもない時代にアジア・アフリカ・中東の憲法を日本に紹介し、連合国総司令部(GHQ)の日本国憲法原案起草メンバーに直撃取材…。東大憲法学におもねらず、落語もたしなむ憲法学の泰斗が、60年の研究生活を綴る。

産経新聞 2024/05/19

2024:4./ 441p  
978-4-594-09722-6

¥2,750〔税込〕



### 障害者の親亡き後プランパーフェクトガイド～障害のある子をもつ親が安心して先立つためにも～

前園 進也 著

ポット出版プラス

障害者の「親亡き後」の備えは、何から手をつければいいのか？ 弁護士であり、重度知的障害児の父親である著者が、自身の親亡き後対策も例に挙げながら、7つのステップで解説する。健常者の老後対策にも役立つ一冊。

産経新聞 2024/05/19

2024:4./ 325p  
978-4-86642-026-4

¥2,420〔税込〕



### 鼓動

葉真中頭 著

光文社

ホームレスの老女が殺された。犯人・草鹿秀郎は18年も引きこもった生活を送り、父親も刺し殺したと自供する。男の人生にいったい何があったのか。事件を追う刑事・奥貫綾乃は、殺された老女に自分の未来を重ねて…。

産経新聞 2024/05/19、読売新聞 2024/05/26

2024:3./ 323p  
978-4-334-10257-9

¥1,870〔税込〕



### 無間の鐘

高瀬 乃一 著

講談社

修験者の扮装で国々を放浪する謎の“十三童子”は、欲に塗れた人間たちを誘う。「願いを叶えたいなら、この鐘を撞け。ただし、撞いた者は来世で底なしの無間地獄に墮ちる」と囁き…。『小説現代』掲載に書き下ろしを追加。

産経新聞 2024/05/26

2024:3./ 266p  
978-4-06-534880-2

¥2,090〔税込〕





### 世界の絶景植物～秘境、辺境、異文化～

湯浅 浩史 著  
淡交社

世界 65 か国以上を訪れる中で出会った個性にあふれ、魅力的な植物たち 228 種類と、植物と環境が生み出した「絶景」を、294 枚の写真で紹介する。『小原挿花』ほか連載を書籍化。

産経新聞 2024/05/26

2024:5./ 254p  
978-4-473-04596-6

¥2,530 [税込]



### シャドウプレイ

ジョセフ・オコーナー 著  
東京創元社

のちに「吸血鬼ドラキュラ」を生み出すことになる若きブラム・ストーカーは、ライシラム劇場の支配人となっていた。ストーカーの無意識の中で小説が形をなしていくにつれ、ドラキュラの存在が現実に影を落とし始め...

産経新聞 2024/05/26

2024:5./ 402p  
978-4-488-01134-5

¥3,520 [税込]



### ブルターニュの歌

ル・クレジオ 著  
作品社

毎年家族で夏の数カ月間を過ごしたブルターニュ。水のおい、古城での祭り。そして、戦争と共に 5 年を過ごしたニス。母と祖母の庇護、まばゆい日々の記憶...。ノーベル文学賞作家が幼少年時代を語った 2 篇を収録。

産経新聞 2024/05/26

2024:3./ 221p  
978-4-86793-020-5

¥2,970 [税込]



### トランスジェンダーと性別変更～これまでとこれから～(岩波ブックレット No.1090)

高井 ゆと里 著  
岩波書店

生殖不能要件は憲法違反。長く放置されてきた人権侵害を是正するため、「性同一性障害特例法」の改正が求められている。特例法が制定された背景から、法・医学・国際人権の知見まで、エキスパートが解説する。

朝日新聞 2024/05/04

2024:3./ 85p  
978-4-00-271090-7

¥748 [税込]



### 富岳百景・走れメロス～他八篇～ 改版(岩波文庫 緑 90-1)

太宰 治 著  
岩波書店

太宰治が短篇の名手であることはひろく知られているが、ここに収めた作品は、いずれも様々な題材を、それぞれ素材に適わしい手法で描いていて、その手腕の確かさを今更のように思い起こさせる。

朝日新聞 2024/05/04

1968:5./ 254p  
978-4-00-310901-4

¥770 [税込]





**スーパーカブ(角川スニーカー文庫 と-2-1-1)**

トネ・コーケン 著

KADOKAWA

両親も友達も趣味もない、何も無い日々を過ごす山梨の女子高生、小熊。だが、中古のスーパーカブを買ったことでクラスメイトの礼子に話しかけられて…。ひとりぼっちの女の子と世界で最も優れたバイクが紡ぐ、日常と友情。

朝日新聞 2024/05/04

2017:5./ 285p  
978-4-04-105663-9

¥704〔税込〕



**葡萄が目にしみる(角川文庫)**

林 真理子 著

角川書店

葡萄づくりの町。地方の進学校。自転車の車輪を軋ませて、乃里子は青春の門をくぐる。淡い想いと葛藤、目にしみる四季の移ろいを背景に、素朴で多感な少女の軌跡を鮮やかに描き上げた感動の長編。

朝日新聞 2024/05/04

1986:3./ 234p  
978-4-04-157908-4

¥481〔税込〕



**梅花の想ひ人～日本昔噺選集～(HARTA COMIX)**

おく 著

KADOKAWA

京都・本能寺に伝わる伝承や、長野・琵琶池にまつわる民話など、日本各地に語り継がれた種々様々な昔噺を、新進気鋭の作家・おくがフルカラーでコミカライズ! 古来の物語に息づく、愛、歎び、そして悲しみを、美しく迫力のあるビジュアルで、想像力豊かに描き出します。

朝日新聞 2024/05/04

2024:4./ 160p  
978-4-04-737641-0

¥1,430〔税込〕



**火の山～山猿記～<上>(講談社文庫)**

津島 佑子 著

講談社

朝日新聞 2024/05/04

2006:1./ 653p  
978-4-06-275296-1

¥942〔税込〕



**笛吹川(講談社文芸文庫 ふ-K 1)**

深沢 七郎 著

講談社

生まれては殺される、その無慈悲な反復。甲州武田家の盛衰と、農民一家の酸鼻な運命。信玄の誕生から勝頼の死まで、武田家の盛衰とともに生きて、笛吹川沿いの農民一家六代にわたる物語。

朝日新聞 2024/05/04

2011:5./ 263p  
978-4-06-290122-2

¥1,540〔税込〕





### 母という呪縛 娘という牢獄

齊藤 彩 著  
講談社

「医学部9浪」の娘はなぜ母を刺殺したのか。司法記者出身のライターが、獄中の娘と交わした膨大な量の往復書簡をもとにつづる、「学歴信仰」に囚われた人たち、そしてすべての母と娘に贈るノンフィクション。

朝日新聞 2024/05/04

2022:12./ 285p  
978-4-06-530679-6

¥1,980〔税込〕



### かまくら BAKE 猫倶楽部<1>(BE LOVE KC)

五十嵐 大介 著  
講談社

鎌倉のどこかにある「化猫倶楽部」に行けば、いなくなった猫に会えると。マヤとガクトが働く「かまくら猫倶楽部」には、今日もまた、その噂を頼りに人が迷いこみ、物語を語り出す。それが、怪異を呼び寄せるとも知らずに...

朝日新聞 2024/05/04

2024:3./ 160p  
978-4-06-534897-0

¥836〔税込〕



### 龍馬 THE SECOND<1>(ヒーロー文庫)

馳月基矢 著  
主婦の友社

暗殺者に襲撃された坂本龍馬は、血を流して倒れている自分の姿を見下ろしていた。そこへ、幼馴染で黄泉路の案内人である友姫が現れ、死者の世界に導くという。だが、志半ばで人生を絶たれた龍馬は反発し...

朝日新聞 2024/05/04

2024:4./ 382p  
978-4-07-453262-9

¥770〔税込〕



### 大江戸恋情本繁昌記～天の地本～(集英社オレンジ文庫 ゆ 4-2)

ゆうき りん 著  
集英社

エンタメ小説の若手編集女子・天は、トラックに轢かれ、江戸時代に転生してしまう。三味線の女師匠に世話になり、この時代でも本を作ることに。果たして、現代の智恵で江戸の人々にも売れる本を作れるのか。

朝日新聞 2024/05/04

2024:3./ 267p  
978-4-08-680550-6

¥737〔税込〕



### ゆるるマナー

青山七恵／戌井昭人／小川糸／温又柔／恩田侑布子／白岩玄／服部文祥／松家仁之／宮内悠介 著  
中央公論新社

機内食を選ぶときも、道ばたでの転倒にも作法があった!? 浮き世をサバイブしてきた賢者9名が惑い、うろたえ、発見する、マナーのエッセイ100篇。『読売新聞』夕刊連載を単行本化。

朝日新聞 2024/05/04

2024:3./ 231p  
978-4-12-005766-3

¥1,760〔税込〕





### 富士日記<上> 新版(中公文庫 た 15-10)

武田 百合子 著  
中央公論新社

夫・武田泰淳と過ごした富士山麓での13年間を、澄明な目と無垢な心で克明にとらえ、天衣無縫の文体で映し出す。上は、昭和39年7月から41年9月までを収録。泰淳の関連エッセイを付した新版。

朝日新聞 2024/05/04

2019:5./ 439p  
978-4-12-206737-0

¥1,034 [税込]



### 富士日記<中> 新版(中公文庫 た 15-11)

武田 百合子 著  
中央公論新社

夫・武田泰淳と過ごした富士山麓での13年間を、澄明な目と無垢な心で克明にとらえ、天衣無縫の文体で映し出す。中は、昭和41年10月から44年6月までを収録。泰淳の関連エッセイを付した新版。

朝日新聞 2024/05/04

2019:6./ 465p  
978-4-12-206746-2

¥1,056 [税込]



### 富士日記<下> 新版(中公文庫 た 15-12)

武田 百合子 著  
中央公論新社

夫・武田泰淳と過ごした富士山麓での13年間を、澄明な目と無垢な心で克明にとらえ、天衣無縫の文体で映し出す。下は、昭和44年7月から51年9月までを収録。武田花のエッセイも掲載。

朝日新聞 2024/05/04

2019:7./ 438p  
978-4-12-206754-7

¥1,034 [税込]



### ここはすべての夜明けまえ

間宮 改衣 著  
早川書房

2123年、九州の山奥に1人住む、おしゃべりが大好きな「わたし」は、人生と家族について振り返るため、家族史を書き始める。それは約100年前、身体が永遠に老化しなくなる手術を受けるときに提案されたことだった…。

朝日新聞 2024/05/04

2024:3./ 123p  
978-4-15-210314-7

¥1,430 [税込]



### 哄う合戦屋(河出文庫 き 14-2)

北沢 秋 著  
河出書房新社

天文18(1549)年。土豪が割拠する中信濃の小領主・遠藤吉弘のもとに天才軍師・石堂一徹が流れ着く。吉弘は、急速に勢力を拡大。だが「天下獲り」を夢見る一徹と、その才を疎ましく感じはじめた吉弘の間に溝が生まれ…。

朝日新聞 2024/05/04

2024:4./ 357p  
978-4-309-42097-4

¥869 [税込]





### 憶～藤沢周連作短編集～

藤沢周 著  
春陽堂書店

過去の記憶をたどりながら、現在と交錯する私小説風作品集。故郷・新潟を舞台に、主人公の幼い頃の「過去」と感染症がはびこる「現在」が交錯する。全 10 編を収録。『Web 新小説』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2024/05/04

2024:2./ 233p  
978-4-394-90473-1

¥1,980〔税込〕



### 密航のち洗濯～ときどき作家～

宋 恵媛／望月 優大 著  
柏書房

1946 年夏。朝鮮から日本へ、1 人の男が密航した。やがて結婚して洗濯屋を始め…。日記等から彼が生きた植民地期の朝鮮と日本、戦後の東京でつくった家族一人ひとりの人生をたどる。『ニッポン複雑紀行』掲載を書籍化。

朝日新聞 2024/05/04

2024:1./ 318p 図版 8

枚

978-4-7601-5556-9

¥1,980〔税込〕



### 宇野亞喜良クロニクル 増補版

宇野 亞喜良 著  
グラフィック社

宇野亞喜良の 2023 年までの作品から、各時代を象徴するイラストレーションとデザインを厳選し、時代を追って紹介する。横尾忠則、寺山修司らの寄稿も収録。オリジナル封筒入りのスペシャルプリント・カード作品付き。

朝日新聞 2024/05/04

2024:4./ 355p  
978-4-7661-3815-3

¥5,940〔税込〕



### 痛みの<東北>論～記憶が歴史が変わるとき～

山内明美 著  
青土社

三陸の漁師たちの声、外国人花嫁の声、そして石牟礼道子らの声が響き合い、時空を超えて<東北>の実相を浮かび上がらせる。東日本大震災の直後から今に至るまでを綴った文章を年代順にまとめる。東北論を更新する画期の書。

朝日新聞 2024/05/04

2024:3./ 288p  
978-4-7917-7636-8

¥2,860〔税込〕



### 高校生と考える人生の進路相談(桐光学園大学訪問授業)

桐光学園中学校・高等学校 編  
左右社

磯野真穂、今井むつみ、松本卓也をはじめとする広いジャンルにわたる一流講師陣が、中高生の好奇心を刺激した「大学訪問授業」の記録。2023 年度「桐光学園特別授業」を収録。

朝日新聞 2024/05/04

2024:4./ 258p  
978-4-86528-410-2

¥1,980〔税込〕





「守礼の光」が見た琉球～写真が語る－米軍統治下のプロパガンダ誌は沖縄をどう描こうとしたか～

ボーダーインク編集部 編  
ボーダーインク

アメリカ統治時代の沖縄で出回っていた、米軍による一般大衆向けプロパガンダ誌『守礼の光』。約 14 年分の誌面を「産業の近代化」「学校と社会教育」など 7 つのテーマに沿って抜粋・再構成し、注釈やコラムとともに紹介する。

朝日新聞 2024/05/04

2024:2./ 159p  
978-4-89982-458-9

¥2,640〔税込〕



9 7 8 4 8 9 9 8 2 4 5 8 9



実存主義者のカフェにて～自由と存在とアプリコットカクテルを～

サラ・ベイクウェル 著  
紀伊國屋書店出版部

1933 年、パリのカフェから生まれた新しい思想・実存主義は、やがて第二次世界大戦後の学生運動、公民権運動に繋がっていく。サルトル、ハイデッガー、ボーヴォワール、フッサール。実存主義の話を、伝記を織り交ぜて綴る。

朝日新聞 2024/05/04、日本経済新聞 2024/05/04

2024:3./ 585p  
978-4-314-01204-1

¥4,180〔税込〕



9 7 8 4 3 1 4 0 1 2 0 4 1



都市に侵入する獣たち～クマ、シカ、コウモリとつくる都市生態系～

ピーター・アラゴナ 著  
築地書館

街中に出没するクマやシカとの遭遇事件が後を絶たない現代。人間が創り出した都市が思いがけず野生生物を引き寄せることになった理由を歴史的に振り返り、駆除か保護かの二元論ではない共生への道を探る。

朝日新聞 2024/05/04、日本経済新聞 2024/05/11

2024:3./ 309p  
978-4-8067-1662-4

¥2,970〔税込〕



9 7 8 4 8 0 6 7 1 6 6 2 4



アメリカ外交の歴史的文脈

西崎 文子 著  
岩波書店

アメリカは、なぜ「理念」の看板を下ろさないのか。ウィルソン外交から冷戦終焉後まで、アメリカ外交を支える思想的基盤を歴史の中に探ってきた著者による珠玉の論集。新聞書評などの小文も収録する。

朝日新聞 2024/05/11

2024:3./ 394p  
978-4-00-061633-1

¥4,070〔税込〕



9 7 8 4 0 0 0 6 1 6 3 3 1



楠木正成・正行・正儀南北朝三代の戦い(星海社新書 292)

生駒 孝臣 著  
星海社

時代によって評価が大きく変わった楠木氏三代の実像とは。気鋭の研究者が、近年の南北朝・室町時代研究の成果をもとに、同時代史料や「太平記」を駆使しながら、虚飾のない新たな楠木父子像を描き出す。

朝日新聞 2024/05/11

2024:4./ 223p  
978-4-06-535473-5

¥1,540〔税込〕



9 7 8 4 0 6 5 3 5 4 7 3 5



### ニュースのあとがき

大越 健介 著  
小学館

「報道ステーション」キャスターの大越健介が、キャスター就任から 2023 年までの怒濤の日々と、その裏で自らの“仕事”と向き合ってきた思いを綴る。番組ホームページ連載を加筆修正。

朝日新聞 2024/05/11

2024:4./ 350p  
978-4-09-389158-5  
¥1,870 [税込]



### 道鏡～悪僧と呼ばれた男の真実～(ちくま新書 1790)

寺西 貞弘 著  
筑摩書房

女帝に取り入って皇位さえうかがった野心家として悪名が根付いている僧侶・道鏡。さまざまな伝説を検証し、最新資料を検討した上で、悪評にまみれた時代の寵児の実像に迫るとともに、古代政治の実態を描き出す。

朝日新聞 2024/05/11

2024:4./ 214p  
978-4-480-07616-8  
¥968 [税込]



### 文画双絶～畸人水島爾保布の生涯～

前田 恭二 著  
白水社

異端の画家、碩学を誇らぬ稀代のコラムニスト、水島爾保布。明治・大正・昭和にわたり、四方八方に才知を蕩尽、あえて梯子を降りて埒外に生き、ついに忘れ去られた爾保布の魅力と足跡を描いた評伝。

朝日新聞 2024/05/11

2024:2./ 800p  
978-4-560-09364-1  
¥15,400 [税込]



### グローバリスト～帝国の終焉とネオリベラリズムの誕生～

クイン・スロポディアン 著  
白水社

ネオリベラルとは市場原理主義者ではなく、市場を包み込む<制度構築>を重視する専門家集団である。ハプスブルク帝国解体後、WTO の創設で絶頂を迎える<知的プロジェクト>として、ネオリベラルなグローバリズムを論じる。

朝日新聞 2024/05/11

2024:2./ 496p  
978-4-560-09398-6  
¥5,280 [税込]



### 家族の言い訳(双葉文庫)

森 浩美 著  
双葉社

朝日新聞 2024/05/11

2008:12./ 301p  
978-4-575-51246-5  
¥660 [税込]





### Farm to Table～シェフが愛する百姓・浅野悦男の365日～

浅野 悦男／成見 智子 著  
平凡社

スーパーでは見かけない野菜やハーブ、食べられる花などを栽培し、飲食店に届けている著者。畑から食卓へひと続きとなる道を拓いた先駆者である著者の一年の仕事をたどり、シェフとの交流で磨かれた農業哲学の一端をひもとく。

朝日新聞 2024/05/11

2024:3./ 276p  
978-4-582-83957-9

¥2,420〔税込〕



### そして私も音楽になった～サウンド・アッサンブラージュの人類学～

小西 公大／大門 碧／飯田 玲子／小林 史子／山本 達也／石上 則子／平田 晶子／宮内 康乃／佐本 英規 著

うつつ堂

音楽にはあらゆるモノをつなげる力がある。そこに居合わせた「私」もまた、音楽を織りなすアクターとなる。このプロセスと動態をとまほぐす、世界で生成する「音楽の力」の民族誌。

朝日新聞 2024/05/11

2024:2./ 309p  
978-4-910855-01-1

¥3,300〔税込〕



### アウト・オブ・民藝 第2版

軸原ヨウスケ、中村裕太 著

誠光社

なぜこれは民藝じゃないの？資料を読み解くことで書き換えられる相関図。民藝運動の周縁にスポットをあて21世紀のモノづくりを考える。2018年に誠光社で行われた企画「アウト・オブ・民藝」の全5回のトークを書籍化。

朝日新聞 2024/05/11

2019:12./ 179p  
978-4-9911149-1-5

¥1,650〔税込〕



### 仕事と人間～70万年のグローバル労働史～<上>

ヤン・ルカセン 著

NHK出版

人類はどのように仕事を組織してきたか。狩猟採集民の時代から現代までを前向きに描く、真にグローバルな労働史。上は、互酬関係の基盤を生んだ小集団生活時代から近代初期のアジア、西ヨーロッパ世界までを概観する。

朝日新聞 2024/05/11、日本経済新聞 2024/05/11

2024:3./ 461p  
978-4-14-081959-3

¥3,520〔税込〕



### 仕事と人間～70万年のグローバル労働史～<下>

ヤン・ルカセン 著

NHK出版

人類はどのように仕事を組織してきたか。狩猟採集民の時代から現代までを前向きに描く、真にグローバルな労働史。下は、近現代の世界各地の歴史を振り返り、人間と仕事のありかたについての未来を展望する。

朝日新聞 2024/05/11、日本経済新聞 2024/05/11

2024:3./ 445p  
978-4-14-081960-9

¥3,520〔税込〕





**新編虚子自伝(岩波文庫 緑 28-11)**

高浜 虚子、岸本 尚毅 著  
岩波書店

近代俳句の礎を築いた高浜虚子の自伝「虚子自伝」を新たに編集。青壮年期の軌跡を語った葎柿堂版と、子規や漱石らとの交遊、能楽、故郷、晩年の心境等を綴った朝日新聞社版の2冊をまとめ、俳句の巨匠の素顔を伝える。

朝日新聞 2024/05/12

2024:4./ 334p  
978-4-00-360046-7

¥1,001〔税込〕



**旅のない(講談社文庫 う 71-2)**

上田 岳弘 著  
講談社

10歳と6歳のボーイズは、亀甲柄と市松模様のマスクでやって来た。弟の息子たちを預かることになった夫婦を描いた「ボーイズ」など、コロナ禍中の日々を映す4つのストーリーを収録した短篇集。

朝日新聞 2024/05/18

2024:4./ 201p  
978-4-06-534426-2

¥704〔税込〕



**ナチ親衛隊<SS>〜「政治的エリート」たちの歴史と犯罪〜(中公新書 2795)**

バスティアン・ハイン 著  
中央公論新社

ナチ親衛隊は何を行ってきたのか。ヒトラーに最も忠実な「エリート」たちの選抜から、ホロコーストの実行、カルト的信仰、戦後の姿までその全貌を描く。ハンナ・アーレントら知識人の親衛隊に対する認識の変化も辿る。

朝日新聞 2024/05/18

2024:3./ 5p,242p  
978-4-12-102795-5

¥1,100〔税込〕



**ダーク・ハーフ<上>(文春文庫)**

スティーヴン・キング 著  
文藝春秋

ジョージ・スタークなる名で暴力小説を書く作家サド。ある日殺人現場から自分の指紋が発見された。作家と抹殺されかけたペンネームの間で繰り広げられる壮絶な血みどろの戦い!

朝日新聞 2024/05/18

1995:10./ 381p  
978-4-16-714811-9

¥649〔税込〕



**ダーク・ハーフ<下>(文春文庫)**

スティーヴン・キング 著  
文芸春秋

朝日新聞 2024/05/18

1995:10./ 349p  
978-4-16-714812-6

¥691〔税込〕





### ミザリー(文春文庫)

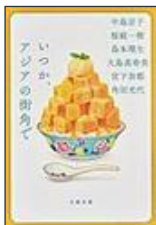
スティーヴン・キング 著  
文芸春秋

両足を骨折した作家ポールは「大ファン」を自称する女に監禁された。狂気に侵された女のもとから脱出することはできるのか？

朝日新聞 2024/05/18

2008.8./ 530p  
978-4-16-770565-7

¥1,047〔税込〕



### いつか、アジアの街角で(文春文庫 か32-50)

中島 京子、桜庭 一樹、島本 理生、大島 真寿美、宮下 奈都、角田 光代 著  
文藝春秋

台湾出身だと語る風変わりな青年、探偵屋に漂うルーロー飯の香り、異国の地でひっそりと暮らす男性に打ち明けた思い…。人気女性作家6人による、珠玉のアジアン・アンソロジー。『オール讀物』掲載を文庫化。

朝日新聞 2024/05/18

2024.5./ 195p  
978-4-16-792213-9

¥737〔税込〕



### 理由のない場所(河出文庫 リ4-4)

イーユン・リー 著  
河出書房新社

16歳の息子が自殺した。母親は、もう存在しない子供との対話を続ける。今日も明日も、1週間後も1年後も、永遠に悲しい。あなたと話すために、この場所をつくることにした…。底なしの喪失感を実体験に基づいて描く。

朝日新聞 2024/05/18

2024.5./ 269p  
978-4-309-46802-0

¥1,100〔税込〕



### 生き延びるために芸術は必要か(光文社新書 1310)

森村泰昌 著  
光文社

自然災害、戦争、AIの発達、地球環境、パンデミック、差別、貧困…。セルフポートレート作品で知られ、「私とは何か」を追求してきた美術家が、「芸術」を手がかりに「生き延びる」ことについて綴った人生論ノート。

朝日新聞 2024/05/18

2024.4./ 292p  
978-4-334-10295-1

¥1,210〔税込〕



### 能力で人を分けなくなる日〜いのちと価値のあいだ〜(あいだで考える)

最首 悟 著  
創元社

重度障害者の娘との暮らし、やまゆり園事件の植松青年への手紙、通いつづけた水俣の地で知ったこと…。86歳の著者が10代の3人と語り合い、いのちに価値づけはできるのか、共に生きるとはどういうことかを考える。

朝日新聞 2024/05/18

2024.4./ 157p  
978-4-422-36016-4

¥1,540〔税込〕





### 「音」と「声」の社会史～見えない音と社会のつながりを観る～

坂田 謙司 著  
法律文化社

この社会には多くの「音」と「声」が存在し、様々な情報を伝え、日常会話としてコミュニケーションに用いられている。我々と「音」「声」の関係を社会史という形で紐解き、その意味を問い直す。

朝日新聞 2024/05/18

2024:3./ 11p,289p,5p  
978-4-589-04330-6

¥3,080〔税込〕



### 失われた絵画を再生する～デジタル技術を用いた復元への挑戦～(芸術選書)

木下 悠 著  
中央公論美術出版

北斎の絵馬、大坂冬の陣図屏風、モネの睡蓮…。本来の姿を失ってしまった絵画を、残された写真や模写など様々な資料とともに読み解き分析し、デジタル技術を用いて再生する復元プロジェクトを、現場の先頭に立つ開拓者が語る。

朝日新聞 2024/05/18

2024:3./ 257p  
978-4-8055-1503-7

¥3,960〔税込〕



### シティ・ポップ文化論

日高 良祐、柴 那典、加藤 賢、宮沢 章夫、川村 恭子、輪島 裕介、小泉 恭子、大和田 俊之、金 悠進、楠見 清、江口 寿史 著

フィルムアート社

シティ・ポップを準備した1970年代の都市文化から、1980年代の流行、そして2020年代の世界的なバイバルまで、シティ・ポップを多角的な視座から分析する。2022年開講のオンライン連続講座を元に書籍化。

朝日新聞 2024/05/18

2024:2./ 264p  
978-4-8459-2141-6

¥2,420〔税込〕



### にっぽんのスズメ

カンゼン

スズメの写真とともに、形態・生態・日々の行動などを紹介。日本に生息するもう一種のスズメであるニューナイスズメ、世界で最もポピュラーなスズメであるイエスズメについても取り上げる。

朝日新聞 2024/05/18

2022:10./ 109p  
978-4-86255-661-5

¥1,650〔税込〕



### たんぱく質

飴屋法水 著  
p a l m b o o k s

生と死、獣と人、食べること、殺すこと、めぐりゆく記憶。この地球に生まれ、やがて去っていく、私のすがた、この世のはなし。「生」の根源を見つめる演劇作家による小説。『新潮』掲載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2024/05/18

2024:3./ 137p  
978-4-910976-02-0

¥3,520〔税込〕





### ビリー・サマーズ<上>

スティーヴン・キング 著  
文藝春秋

凄腕の殺し屋ビリーが、引退を決意して「最後の仕事」を受けた。ターゲットが裁判所へ移送される一瞬を待つ、狙撃地点となる街に潜伏するための偽装身分は小説家。事務所に通ううち、ビリーは本当に小説を書き始めてしまい...

朝日新聞 2024/05/18、日本経済新聞 2024/05/25

2024:4./ 307p  
978-4-16-391831-0

¥2,970 [税込]



### ビリー・サマーズ<下>

スティーヴン・キング 著  
文藝春秋

狙撃を実行し、警察からも依頼人たちからも身を隠す羽目になったビリー。しかも潜伏する家に若い女性アリスが転がり込んでくる。ビリーは殺しの仕事の真相に近づこうとするが、執筆途中の小説も気にかかり...

朝日新聞 2024/05/18、日本経済新聞 2024/05/25

2024:4./ 319p  
978-4-16-391832-7

¥2,970 [税込]



### 漱石詩注(岩波文庫 青 152-2)

吉川 幸次郎 著  
岩波書店

漢詩は小説と同じく漱石の思想の表現である、と評した中国文学者が、学生時代から死の直前までに作られたうち 160 首に丹念な注釈を加え、その思想遍歴の跡を描き出す。

朝日新聞 2024/05/25

2002:9./ 338p  
978-4-00-331522-4

¥1,067 [税込]



### ねえ、おぼえてる？

シドニー・スミス 著  
偕成社

明かりを消したベッドでかわされる母と子の親密な会話。喜びと痛みをともなう思い出とともに、新しい人生を歩みだすふたりに、美しい朝の光が差し...。作者自らの子ども時代の体験を描いた、心ゆさぶる絵本。

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 40p  
978-4-03-425400-4

¥1,760 [税込]



### 群衆心理(講談社学術文庫)

ギュスターヴ・ル・ボン 著  
講談社

民主主義が進展し、「群衆」が歴史をうごかす時代となった 19 世紀末、フランスの社会心理学者ギュスターヴ・ル・ボンは、心理学の視点に立って群衆の心理を解明しようと試みた。今日の社会心理学の研究発展への道を開いた古典的名著である。

朝日新聞 2024/05/25

1993:9./ 301p  
978-4-06-159092-2

¥1,122 [税込]





ジョン・ロールズ～誰もが「生きづらくない社会」へ〜(講談社現代新書  
現代新書 100 2743)

玉手 慎太郎 著

講談社

社会のルールはどのように決めるべきか？ すべての人が納得できる正義はあるのか？ 現代政治哲学の起点となった名著「正義論」を平易に読み解き、ジョン・ロールズの思想の核心を伝える。

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 124p  
978-4-06-535462-9

¥880 [税込]



逃げて、逃げて、シェイクスピア～翻訳家・松岡和子の仕事～

草生 亜紀子 著

新潮社

完訳を成し遂げた翻訳家の仕事と人生は、こんなにも密接につながっていた。日本女性としては初めて、シェイクスピアの戯曲 37 作を完全翻訳した著者が、仕事の流儀から生い立ちまで、すべてを明かす。

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 221p  
978-4-10-464002-7

¥1,980 [税込]



貨物列車で行こう！

長田 昭二 著

文藝春秋

貨物列車に乗りたい。少年時代から貨物列車に魅せられた著者は 50 歳を過ぎてから、ついにその夢をかなえた。奇跡ともいえる貨物列車添乗記と貨物駅、車両所の探訪記。図版も多数収録。『文春オンライン』掲載等を書籍化。

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 251p  
978-4-16-391828-0

¥1,980 [税込]



再会の日に

中山 聖子 著

岩崎書店

3 年半前、突然引き裂かれるように別れた姉妹、陽架と未怜。あることがきっかけで意を決した陽架は、妹の通う塾の前で待ち伏せして声をかけるが、未怜の反応は意外なものだった…。

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 230p  
978-4-265-84048-9

¥1,650 [税込]



アメリカ映画の文化副読本

渡辺将人 著

日経 B P 社

シリコンバレー、ハーバードから、華人社会まで。異色の政治学者が、日本でも人気の映画やドラマを数多く取り上げ、地域、学歴、政治など作品の背景にあるアメリカ社会の本質を語り尽くす。

朝日新聞 2024/05/25

2024:1./ 355p  
978-4-296-11947-9

¥1,980 [税込]



### ある文文学者の肖像～評伝・富士川英郎～

富士川 義之 著  
新書館

「リルケ」「江戸後期の詩人たち」「菅茶山」などの名著で知られる文文学者・富士川英郎をめぐる評伝。時代とともに、游、英郎、義之と続く学者三代の系譜を描き出す。

朝日新聞 2024/05/25

2014:3./ 446p  
978-4-403-21106-5

¥3,960〔税込〕



### ロダンのココロ国語辞典～と、言葉をめぐる僕の視点～

内田かずひろ 著  
大和書房

やさしく、とぼけていながらも時にすどく日常を観察するロダンの漫画と、著者・内田かずひろが、60歳を迎えようとしてもなお生きづらさを抱え続ける毎日をユーモラスにつづるエッセイで編んだ国語辞典。

朝日新聞 2024/05/25

2024:3./ 190p  
978-4-479-39424-2

¥1,650〔税込〕



### 結婚の社会学(ちくま新書 1789)

阪井 裕一郎 著  
筑摩書房

事実婚、ステップファミリー、同性パートナーシップ、選択的シングルなど、日々変化する結婚をめぐる常識。国際比較、歴史的比較、理論という視点から、結婚を解き明かし、新たな家族像を示す。

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 312p,5p  
978-4-480-07614-4

¥1,100〔税込〕



### つげ義春が語る旅と隠遁

つげ 義春 著  
筑摩書房

「もっと寂しい所で誰にも看とられずにずっと消えたいね。都会じゃ未練が残るじゃない...」マンガ家・つげ義春のインタビュー、対談を集大成。旅、温泉、人生、宗教観、生活など、独特な作品の背景が浮かび上がる。

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 398p  
978-4-480-81864-5

¥2,530〔税込〕



### カフカの日記～1910-1923～ 新版

マックス・ブロート 編  
フランツ・カフカ 著  
みすず書房

書くことへの思い、女性への苦悩、父との葛藤...。そのすべてはカフカの文学に連なり、それ自体が文学になっている。日記文学の金字塔を、新潮社版「決定版カフカ全集」第7巻を底本に新たに組みなおして刊行。

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 551p,4p  
978-4-622-09693-1

¥5,500〔税込〕





### スナックこども

令丈ヒロ子 著  
理論社

ムカムカ、イライラ。今夜はねむれない。そんなときは、あのお店に行こう! お母さんに怒られてモヤモヤしていたゆのんは、こどもしか知らない、こどもしか入れない「スナックこども」に行くことに...

朝日新聞 2024/05/25

2024:4./ 44p  
978-4-652-20618-8

¥1,540〔税込〕



### 古代漢詩選(日本漢詩人選集)

興膳 宏 著  
研文出版

朝日新聞 2024/05/25

2005:10./ 260p  
978-4-87636-253-0

¥3,630〔税込〕



### 人生で大切なたったひとつのこと

ジョージ・ソーンダーズ 著  
KADOKAWA

15分で読めるけれど、一生心に残る本。短編小説の名手が「やさしいひとになる」という、簡単そうで難しいことを、わかりやすいことばで、鋭く、深く、とびきりおもしろく語ったスピーチの全文。英語の原文と日本語訳を収録。

東京・中日新聞 2024/05/04

2024:3./ 62p  
978-4-04-114585-2

¥1,430〔税込〕



### AI 法廷の弁護士(ハヤカワ文庫 JA 1569)

竹田 人造 著  
早川書房

複雑化していく訴訟社会にあって、AI 裁判官が導入された日本。法曹界が人の代替としての AI 裁判官を受け入れ始める中、不敗弁護士・機島雄弁は、あくまで機械としての裁判官を冷徹に分析し...。電腦法廷ミステリ。

東京・中日新聞 2024/05/04

2024:4./ 430p  
978-4-15-031569-6

¥1,100〔税込〕



### 佐渡絢爛

赤神諒 著  
徳間書店

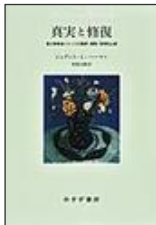
時は元禄。金銀産出の激減に苦しむ佐渡で、立て続けに怪事件が起こる。消えた千両箱、落盤事故、能舞台で磔にされた斬死体、割戸から吊り下げられた遺体。いずれの現場にも能面が残されていて...。『新潟日報』連載を加筆改稿。

東京・中日新聞 2024/05/04

2024:3./ 348p  
978-4-19-865810-6

¥2,200〔税込〕





### 真実と修復～暴力被害者にとっての謝罪・補償・再発防止策～

ジュディス・L・ハーマン 著

みすず書房

暴力被害者は何を求めているのか。加害者の謝罪やアカウンタビリティはどうあるべきか。補償や再発防止の具体策は、司法のあり方は-。暴力を生き延びた人にとっての正義を考える。

東京・中日新聞 2024/05/05

2024:3./ 234p,21p  
978-4-622-09690-0

¥3,740〔税込〕



### 江戸の憲法構想～日本近代史の“イフ”～

関 良基 著

作品社

江戸時代の知識人たちのさまざまな憲法構想を読み解き、比較検討していくなかで、明治維新は唯一解ではなく、日本には多様な方向の近代化の可能性があり得たことを明らかにする。「赤松小三郎ともう一つの明治維新」の続編。

東京・中日新聞 2024/05/05

2024:3./ 251p  
978-4-86793-026-7

¥2,420〔税込〕



### 彼女たちの戦争～嵐の中のささやきよ！～

小林 エリカ 著

筑摩書房

リーゼ・マイトナー、伊藤野枝、メイ・サートン、ヴァージニア・ウルフ…。歴史の中でおおく不当に不遇であった彼女たちのプロフィールを拾い上げる、やさしくただけしい闘いの記録。『ちくま』など掲載に加筆。

東京・中日新聞 2024/05/05、読売新聞 2024/05/19

2024:2./ 126p  
978-4-480-81577-4

¥1,870〔税込〕



### 声と文字の人類学(NHK ブックス 1284)

出口 顕 著

NHK出版

文字と口頭によるコミュニケーション、つまり文字と声とはどのように関わっているのか。古代ギリシャから現代のバリまで、「声より先に文字がある」「文字の記録が信頼されない」例を論じ、読み書き能力への素朴な信仰を問う。

東京・中日新聞 2024/05/12

2024:3./ 258p  
978-4-14-091284-3

¥1,760〔税込〕



### しをかかうま

九段 理江 著

文藝春秋

競馬実況を生業とするわたしは、人類と馬との関係を取り戻すため、そして愛する牝馬<しをかかうま>号に近づくため、両者に起こった歴史を学ぼうと「これまで存在した全ての牡馬」たる男を訪ね…。『文學界』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2024/05/12

2024:3./ 172p  
978-4-16-391816-7

¥1,650〔税込〕





### 頭上運搬を追って～失われゆく身体技法～(光文社新書 1303)

三砂ちづる 著  
光文社

日本では失われつつある身体技法「頭上運搬」。沖縄や伊豆諸島ほか日本各地や海外にその記憶と痕跡を訪ね、生活や労働を支えた身体技法と、自らの身体への理解や意識を考察する。

東京・中日新聞 2024/05/12、朝日新聞 2024/05/18、読売新聞 2024/05/26

2024:3./ 252p  
978-4-334-10252-4

¥946 [税込]



### 味なニッポン戦後史(インターナショナル新書 140)

澁川 祐子 著  
集英社インターナショナル

だしから味の素まで、「うま味」をめぐる騒動とは? 糖質オフと甘いトマトの関係は? 食糧難、高度経済成長、バブル崩壊、格差の拡大など、世相とともに揺れる日本人の味覚をたどる新たな戦後史。『サイゾー』連載を加筆。

東京・中日新聞 2024/05/18、産経新聞 2024/05/26

2024:4./ 221p  
978-4-7976-8140-6

¥968 [税込]



### 死の貝～日本住血吸虫症との闘い～(新潮文庫 こ-28-2)

小林 照幸 著  
新潮社

腹に水がたまって妊婦のように膨らみ、やがて動けなくなって死に至る。古来より日本各地で発生した「謎の病」を克服するため、医師たちが立ち上がる。そして原因と思われる未知の寄生虫が…。日本住血吸虫症との闘いの記録。

東京・中日新聞 2024/05/18、読売新聞 2024/05/26

2024:5./ 333p  
978-4-10-143322-6

¥737 [税込]



### 大江健三郎論～怪物作家の「本当ノ事」～(光文社新書 1296)

井上隆史 著  
光文社

大江健三郎とは何者だったのか。「奇妙な仕事」「飼育」「万延元年のフットボール」「晩年様式集」など、代表作を初期から順に読み進めることで、「民主主義者」「平和主義者」としての大江像に再考を迫る。

東京・中日新聞 2024/05/19

2024:2./ 324p  
978-4-334-10223-4

¥1,100 [税込]



### 外岡秀俊という新聞記者がいた

及川 智洋 著  
田畑書店

2021年に急逝した外岡秀俊。東大在学中に「北帰行」でデビューを果たしながら、朝日新聞社に入社。以後40数年にわたるジャーナリスト人生を伝えるオーラル・ヒストリー。未刊行の処女作「白い蝙蝠は飛ぶ」も収録。

東京・中日新聞 2024/05/19

2024:5./ 436p  
978-4-8038-0436-2

¥3,300 [税込]





### 女の子たち風船爆弾をつくる

小林 エリカ 著

文藝春秋

太平洋戦争末期、女学生たちは秘密の兵器を製造するため、東京宝塚劇場に集められ...。意図せぬまま戦争の当事者とされていく少女たちの青春を、膨大な資料や取材を基に描き出す。『文學界』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2024/05/25

2024:5./ 395p  
978-4-16-391835-8

¥2,750〔税込〕



### 冬期限定ボンボンショコラ事件(創元推理文庫 M よ 1-12)

米澤穂信 著

東京創元社

小鳩君が車に撥ねられ、病院に搬送された。昏々と眠る小鳩君の枕もとには、小佐内さんからの「犯人をゆるさない」というメッセージが残されていた。小佐内さんは、どうやら犯人捜しをしているらしく...

東京・中日新聞 2024/05/25

2024:4./ 431p  
978-4-488-45112-7

¥880〔税込〕



### 春のとなり

高瀬 乃一 著

角川春樹事務所

夫の仇を討つため江戸へやってきた奈緒と、その養父で医者文二郎。ふたりが深川で営む薬屋に、芸者・捨て丸が惚れ薬を作してほしいとやってきた。相手は、なんと有名な本草学者で...。『ランティエ』連載を改題、加筆・訂正。

東京・中日新聞 2024/05/25

2024:5./ 237p  
978-4-7584-1464-7

¥1,760〔税込〕



### 本屋のない人生なんて

三宅玲子 著

光文社

ネット書店で本を取り寄せる習慣が私たちの生活に定着するなか、それでも新しい「本屋」を開く店主たちがいる。北海道から九州まで、全国の気骨ある書店を訪ね歩いたノンフィクション。『ニッポンドットコム』連載を改稿。

東京・中日新聞 2024/05/26

2024:3./ 337p  
978-4-334-10264-7

¥2,090〔税込〕



### アメリカ 70年代～激動する文化・社会・政治～

ブルース・J・シュルマン 著

国書刊行会

70年代アメリカの文化・社会・政治を多角的・横断的に捉え、以後半世紀にわたってダイナミックに変容していく社会の萌芽を見出す。21世紀におけるアメリカの分断と南部化の予兆をヴィヴィッドに描いた一冊。

東京・中日新聞 2024/05/26

2024:2./ 544p  
978-4-336-07583-3

¥3,960〔税込〕





### 平岡正明著作集<上>

平岡正明著作集編集委員会 編

平岡 正明 著

月曜社

思想家・平岡正明の全著作から、そのラディカルで多様な思想の全体を見渡すために重要なテキストを精選。上は、「犯罪あるいは革命に関する諸章」「ジャズ宣言」「石原莞爾試論」など最初期～1977年の著作を収録。

東京・中日新聞 2024/05/26

2024:4./ 531p  
978-4-86503-184-3

¥3,520〔税込〕



9 78 4 865 03 184 3



### 平岡正明著作集<下>

平岡正明著作集編集委員会 編

平岡 正明 著

月曜社

思想家・平岡正明の全著作から、そのラディカルで多様な思想の全体を見渡すために重要なテキストを精選。下は、「山口百恵は菩薩である」「昭和二十二年歌謡曲論」「落語、新内、冬の虎退治馬退治」「赤色残侠伝」などを収録。

東京・中日新聞 2024/05/26

2024:3./ 555p  
978-4-86503-185-0

¥3,520〔税込〕



9 78 4 865 03 185 0



### 「むなしさ」の味わい方(岩波新書 新赤版 2002)

きたやま おさむ 著

岩波書店

自分の人生に意味はあるのか、自分に存在価値はあるのか...といった誰にでも訪れる「むなしさ」を味わうことができれば、心はもっと豊かになるかもしれない。「心の空洞」の正体を探り、それとともにどう生きるかを考察する。

読売新聞 2024/05/05

2024:1./ 208p  
978-4-00-432002-9

¥1,012〔税込〕



9 78 4 00 43 200 2 9



### 新古事記～an impossible story～

村田 喜代子 著

講談社

太平洋戦争の最中、錚々たる科学者たちが続々と集結。秘密裏に進む原爆開発、施設内の出産ラッシュ、何も知らず家事と子育てに明け暮れる学者の妻たちの平穏な日々...。日系三世の数奇な物語。『群像』連載を加筆し単行本化。

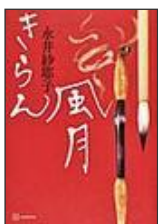
読売新聞 2024/05/05

2023:8./ 349p  
978-4-06-532683-1

¥2,420〔税込〕



9 78 4 06 53 268 3 1



### きらん風月

永井 紗耶子 著

講談社

絵も歌も戯作もこなし、「尼子十勇士」を世に知らしめた栗杖亭鬼卯。寛政の改革で一度は天下人となった元老中・松平定信。鬼卯の昔語りは、やがて定信の半生をも照らし、大きな決意を促して...。『産経新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2024/05/05

2024:1./ 314p  
978-4-06-533819-3

¥1,980〔税込〕



9 78 4 06 53 381 9 3



**植物の謎～60のQ&Aから見える、強くて緻密な生きざま～(ブルーバック  
ス B-2257)**

日本植物生理学会 編  
講談社

ダイコンの辛さが場所によって違うのはなぜか？ 地球から木が消えたらどうなる？ 日本植物生理学会ホームページに寄せられた質問に、最新の研究成果をもとに徹底回答する。

読売新聞 2024/05/05

2024:3./ 234p  
978-4-06-534838-3

¥1,100〔税込〕



**大陸の誕生～地球進化の謎を解くマグマ研究最前線～(ブルーバックス B-  
2259)**

田村 芳彦 著  
講談社

地球以外の惑星では見られない岩石、安山岩で構成される大陸...その起源の謎を解くことで、<生命の誕生>にも迫れる!? 海と海底の火山を長年調査してきた著者が、マグマ活動がもたらす地球進化のからくりを明かす。

読売新聞 2024/05/05

2024:4./ 286p  
978-4-06-535249-6

¥1,210〔税込〕



**題未定～霊媒の話より～(新潮文庫 あ-4-26)**

安部 公房 著  
新潮社

漂泊民の少年が安住を切望する 19歳の処女作「(霊媒の話より)題未定」をはじめ、2012年新たに原稿が発見された「天使」、「壁-S・カルマ氏の犯罪」に繋がる「キンドル氏とねこ」など、初期の短編全11編を収録する。

読売新聞 2024/05/05

2024:4./ 363p  
978-4-10-112126-0

¥825〔税込〕



**三井大坂両替店～銀行業の先駆け、その技術と挑戦～(中公新書 2792)**

萬代悠 著  
中央公論新社

元禄4年(1691)に三井高利が開設した三井大坂両替店は、いかにして栄え、日本初の民間銀行創業へと繋がったのか。三井の膨大な史料から信用調査の技術と法制度を利用した工夫を読み解き、新たな視点で金融史を捉え直す。

読売新聞 2024/05/05

2024:2./ 9p,270p  
978-4-12-102792-4

¥1,100〔税込〕



**柳宗悦の視線革命～もう一つの日本近代美術史と民芸の創造～**

西岡 文彦 著  
東京大学出版会

博覧強記の巨人・柳宗悦。「全球的時代状況との同時的感応」という世界的な知と美の変動の中を疾走した柳の軌跡を通し、もう一つの日本近代美術史の可能性の中心と民芸の創造のダイナミズムを描く。

読売新聞 2024/05/05

2023:12./ 370p  
978-4-13-083084-3

¥4,950〔税込〕





## センスの哲学

千葉 雅也 著  
文藝春秋

センスとは何か、センスの良し悪しとはどういうことか。音楽、絵画、小説、映画など、芸術的諸ジャンルを横断しながら考える「センスの哲学」にして、芸術入門の書。「勉強の哲学」「現代思想入門」に続く哲学三部作の最終作。

読売新聞 2024/05/05

2024:4./ 251p  
978-4-16-391827-3

¥1,760〔税込〕



## 音楽評論の一五〇年～福地桜痴から吉田秀和まで～

白石 美雪 著  
音楽之友社

明治の啓蒙、大正の自由、昭和戦前の統制…。近現代史の中で、音楽評論家とメディアはどう育まれたか。重要で興味深い出来事をピックアップし、その時期に書かれた評論を具体的に取り上げ、音楽評論そのものの意味を問い直す。

読売新聞 2024/05/05

2024:3./ 352p,15p  
978-4-276-20116-3

¥3,850〔税込〕



## 見ることの塩<上> イスラエル/パレスチナ紀行(河出文庫 よ18-2)

四方田 犬彦 著  
河出書房新社

テルアヴィヴから壁を越えパレスチナへ。街を歩き、人々対話を重ねるなかで浮上する、ユダヤ人の定義不可能性。彼らの悲痛な語り…。さりげない日常から現代史の突出点を凝視する珠玉の紀行文学。書き下ろしを増補し文庫化。

読売新聞 2024/05/05

2024:3./ 313p  
978-4-309-42090-5

¥1,320〔税込〕



## 見ることの塩<下> セルビア/コソヴォ紀行(河出文庫 よ18-3)

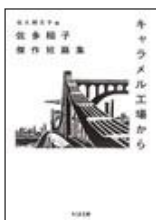
四方田 犬彦 著  
河出書房新社

眼に塩を擦りこまれるような分離戦争から数年後、旧ユーゴスラビアの首都と難民キャンプへ。<民族浄化>の痕跡も生々しい街角を歩き、対話を重ねた先で敗戦国の真実に直面する紀行文学の傑作。書き下ろしを増補し文庫化。

読売新聞 2024/05/05

2024:3./ 320p  
978-4-309-42091-2

¥1,320〔税込〕



## キャラメル工場から～佐多稲子傑作短篇集～(ちくま文庫 さ55-1)

佐多 稲子/佐久間 文子 著  
筑摩書房

労働、地下活動、戦争、東京や長崎の町、懐かしい友人たちについて自らの経験をもとに書き続け、昭和を駆け抜けた作家、佐多稲子。その最良の16篇を厳選した文庫オリジナルの短篇選集。

読売新聞 2024/05/05

2024:3./ 286p  
978-4-480-43940-6

¥968〔税込〕





### ぼくらは回収しない(ミステリ・フロンティア 119)

真門 浩平 著  
東京創元社

数十年に一度の日食が起きた日、名門大学の学生寮で女子学生が亡くなった。自殺と考えられたが、寮生たちは独自に事件を調べ始め…。第19回ミステリーズ!新人賞受賞作「ルナティック・レトリバー」を含む5編を収録。

読売新聞 2024/05/05

2024:3./ 215p  
978-4-488-02025-5

¥1,870〔税込〕



### ライ麦畑でつかまえて(白水Uブックス)

J.D.サリンジャー 著  
白水社

読売新聞 2024/05/05

1984:5./ 332p  
978-4-560-07051-2

¥968〔税込〕



### 日本初の女性裁判所長三淵嘉子〜「愛の裁判所」を目指して〜(別冊太陽 日本のこころ 315)

別冊太陽編集部 編  
平凡社

2024年春のNHK連続テレビ小説『虎に翼』のヒロインのモデルである、日本初の女性裁判官・三淵嘉子。家庭裁判所判事として、社会の矛盾や不平等と闘った、その果敢な生涯をたどる。

読売新聞 2024/05/05

2024:3./ 95p  
978-4-582-92315-5

¥1,980〔税込〕



### VIOLA〜海島千本作品集〜

海島千本 著  
パイインターナショナル

海島千本ならではのオリジナルアートを多数収録した画集第3弾。「すずめの戸締り」の前日譚を描いた絵本「すずめといす」の挿絵、「Fate/Grand Order」概念礼装のイラストなどの商業作品も収録。

読売新聞 2024/05/05

2024:1./ 225p  
978-4-7562-5760-4

¥2,970〔税込〕



### 評伝丸山眞男〜その思想と生涯〜

黒川 みどり 著  
有志舎

戦後日本における最大の思想家とされる丸山眞男。彼の思想は正しく理解されてきたのか。<不断の精神革命><永久革命としての民主主義>の実現のために闘い、「少数者のノーと言う勇氣」に賭けた、その思想と生涯を読み解く。

読売新聞 2024/05/05、朝日新聞 2024/05/11

2024:3./ 430p  
978-4-908672-72-9

¥3,520〔税込〕





### バッタを倒すぜアフリカで(光文社新書 1305)

前野ウルド浩太郎 著  
光文社

13年間、世界中を飛び回り、重ねてきたフィールドワークと実験は、バッタの大発生を防ぐ可能性を持っていた! バッタの繁殖行動の謎を研究した記録。「バッタを倒しにアフリカへ」続編。

2024:4./ 605p  
978-4-334-10290-6

¥1,650〔税込〕



読売新聞 2024/05/05、日本経済新聞 2024/05/11



### 利他・ケア・傷の倫理学〜「私」を生き直すための哲学〜(犀の教室)

近内悠太 著  
晶文社

大切にしているものが一人ひとりズレる社会で、善意を空転させることも、人を傷つけることもなく生きていくには? 人と出会い直し、歩み直し、関係を結び直すために、利他とは何か、ケアの本質とは何かについて哲学的に考察。

2024:3./ 302p  
978-4-7949-7414-3

¥1,980〔税込〕



読売新聞 2024/05/05、日本経済新聞 2024/05/25



### 大岡信『折々のうた』選 俳句(1)(岩波新書 新赤版 1811)

長谷川 權 著  
岩波書店

詩人・大岡信のライフワーク「折々のうた」を、「俳句」「短歌」「詩と歌謡」に再編集。俳句1は、松尾芭蕉をはじめとする古典主義俳句を収録する。川柳も掲載。

2019:11./ 206p  
978-4-00-431811-8

¥858〔税込〕



読売新聞 2024/05/12



### 数学の世界史

加藤 文元 著  
KADOKAWA

古代エジプト数学、インド数学、和算…。かつて、風土や社会を反映した独自の数学が各地で発展していたにもかかわらず、なぜ西洋数学に席卷されたのか。5000年以上にわたって進化し続ける壮大な人類の知の体系をたどる。

2024:2./ 364p  
978-4-04-114143-4

¥2,420〔税込〕



読売新聞 2024/05/12



### 菜根譚(講談社学術文庫)

講談社

本書は、「儒・仏・道」の3教を根幹とする『菜根譚』の真髓を体得して日常生活の指針とするため、儒・道教の専門家と仏教、特に禅学を専攻する学者の2人が、長年に亙り原典を全面的に見直し、これを究明し、その成果を新たに書き下ろしたものである。

1986:6./ 441p  
978-4-06-158742-7

¥1,430〔税込〕



読売新聞 2024/05/12



### コレクターズ・ハイ

村雲 菜月 著  
講談社

なにゆなにゆオタクの私、クレーンゲームオタクの森本さん、髪オタク美容師の品田。その愛は一方通行だったはずなのに、気がつけば歪んだトライアングルから抜け出せなくなって...。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2024/05/12

2024:2./ 111p  
978-4-06-534596-2

¥1,485 [税込]



### 県警の守護神～警務部監察課訟務係～

水村 舟 著  
小学館

バイクの自損事故現場で轢き逃げに遭った新人警察官の桐嶋千隼。目を覚ますとバイクの少年は死亡していた上、その責任を巡る訴訟を起こされていた。途方に暮れる桐嶋を訪れたのは、弁護士資格を持つ異例の警察官・荒城で...

読売新聞 2024/05/12

2024:1./ 350p  
978-4-09-386705-4

¥1,760 [税込]



### 輝ける闇 改版(新潮文庫 か-5-9)

開高 健 著  
新潮社

読売新聞 2024/05/12

2010:7./ 353p  
978-4-10-112809-2

¥649 [税込]



### 剣客商売一 剣客商売(新潮文庫 い-17-1)

池波 正太郎 著  
新潮社

読売新聞 2024/05/12

2002:9./ 365p  
978-4-10-115731-3

¥737 [税込]



### ごんぎつねの夢(新潮文庫 も-37-2)

本岡 類 著  
新潮社

15年ぶりのクラス会で恩師が散弾銃を発砲。託されたメッセージは「ごんぎつねの夢を広めてくれ」。次第に恩師の過去、名作「ごんぎつね」にまつわる哀しい史実などが見えてきて...。書き下ろしミステリー。

読売新聞 2024/05/12

2024:5./ 367p  
978-4-10-127612-0

¥781 [税込]



### 二人目の私が夜歩く

辻堂ゆめ 著  
中央公論新社

昼と夜で、一つの体を二人で共有する茜と咲子。姉妹のような、親友のような関係を築いていたが、「昼」の終わりによって予想だにしない「夜」の真実が顔を覗かせはじめる。果たして、彼女たちが「最期」に見たものとは...

読売新聞 2024/05/12

2024:4./ 267p  
978-4-12-005778-6

¥1,870 [税込]





## ハクビシンの不思議～どこから来て、どこへ行くのか～

増田 隆一 著

東京大学出版会

なんとなく近くにいるのに、何者なのかはよくわからないハクビシン。彼らはどんな動物で、いつから日本に分布しているのか？ さまざまな動物たちの由来を解き明かしてきた動物学者が、ミステリアスな生きものの謎を追う。

読売新聞 2024/05/12

2024:1./ 123p  
978-4-13-063958-3

¥3,300〔税込〕



## 星落ちて、なお(文春文庫 さ70-3)

澤田 瞳子 著

文藝春秋

不世出の絵師、河鍋暁斎が死に、これまで家の中で辛うじて保たれていた均衡が崩れた。一門の行末は、娘とよ(暁翠)の双肩にかかっているのだが…。明治大正の激動の時代を生き抜いた女絵師の一代記。

読売新聞 2024/05/12

2024:4./ 361p  
978-4-16-792195-8

¥891〔税込〕



## 掌編源氏物語(潮文庫 は-4)

馬場 あき子 著

潮出版社

王朝ロマンの最高峰「源氏物語」全 54 帖を、円熟の歌人が豊かな感性から掌編として紡ぎ出し、京都画壇で活躍する日本画家 54 人が描いた挿絵とともに、物語の世界を 1 冊で堪能できるようまとめる。文庫版あとがきも収録。

読売新聞 2024/05/12

2024:3./ 228p  
978-4-267-02417-7

¥1,320〔税込〕



## <共働き・共育て>世代の本音～新しいキャリア観が社会を変える～(光文社新書 1300)

本道敦子、山谷真名、和田みゆき 著

光文社

仕事と子育ての両立、そのための様々な障害にどう対処しているのか。<共働き・共育て>を志向するミレニアル世代にインタビュー調査を行い、事例を多数紹介。企業が取るべき対策を明らかにする。

読売新聞 2024/05/12

2024:3./ 263p  
978-4-334-10249-4

¥968〔税込〕



## 日本人は何を考えたのか～日本の思想 1300 年を読み直す～(祥伝社黄金文庫 G さ15-5)

齋藤孝 著

祥伝社

礼賛でも、自虐でもない、自分の国の正しい姿を知ろう！ 古事記から京都学派まで、日本思想のポイントが“ざっくり”わかる入門書。「言葉」「宗教」「西洋との関係」「人生観」の 4 つのポイントで、日本を読み解く。

読売新聞 2024/05/12

2020:10./ 290p  
978-4-396-31792-8

¥880〔税込〕





### つながる読書～10代に推したいこの一冊～(ちくまプリマー新書 451)

小池 陽慈 編

筑摩書房

本で<他者>とつながろう! 同じ本から、さまざまな思いが、さまざまな言葉に乗せられて、織り成されていき…。SNS でつながった読み書きのプロたちが、10代に読んでほしい一冊を紹介する。

2024:3./ 311p  
978-4-480-68476-9

¥1,078 [税込]



読売新聞 2024/05/12



### 時は待ってくれない(「100年インタビュー」保存版)

小田 和正 著

PHP 研究所

大ヒット曲「さよなら」「ラブ・ストーリーは突然に」誕生秘話、交通事故、伝説のコンサート…。アーティスト・小田和正が、オフコースの原点や音楽への思いなどを語る。NHK 番組「100年インタビュー」をもとに書籍化。

2018:5./ 187p  
978-4-569-84011-6

¥1,540 [税込]



読売新聞 2024/05/12



### 陰謀論はなぜ生まれるのか～Q アノンとソーシャルメディア～

マイク・ロスチャイルド 著

慶應義塾大学出版会

アメリカ連邦議会議事堂襲撃事件はなぜ起こったのか。世界中を震撼させた「Q アノン」現象の根源に分け入り、権威や既存メディアに疑問を抱き、陰謀論を信じる人々の深層に迫るノンフィクション。

2024:1./ 10p,362p  
978-4-7664-2936-7

¥2,970 [税込]



読売新聞 2024/05/12



### 幻想美術館～名画から紡ぐストーリー～

太田 治子 著

かまくら春秋社

ぬいぐるみの白クマのように愛らしい10歳の息子が鳥籠の中の文鳥を見上げていた。その横顔は何故かとても悲しそうで…。時代や国を越えた多様な50の絵画と、そこから生まれた物語を収録。『かまくら春秋』連載を加筆修正。

2024:4./ 111p  
978-4-7740-0896-7

¥1,870 [税込]



読売新聞 2024/05/12



### 寄り添う言葉(インターナショナル新書 135)

永田 和宏/小池 真理子/垣添 忠生/小池 光/徳永 進 著

集英社インターナショナル

最後にどのような言葉をかけたらよかったのだろう…。歌人である妻、河野裕子をがんで亡くした永田和宏が、作家の小池真理子ら伴侶を亡くした人や終末医療に携わる医師と語り合う。『kotoba』連載を加筆し新書化。

2024:2./ 237p  
978-4-7976-8135-2

¥979 [税込]



読売新聞 2024/05/12



### 子どもと大人の福祉制度の歩き方～流れと対応がチャートでわかる!～

浜内 彩乃 著  
ソシム

大人編と子ども編に分け、複雑な福祉制度の全体像をチャートで示して解説。各章には登場人物(事例)を出し、場面ごとに区切って説明していくため、使える制度の概要がピンポイントに理解できる。折り込みのチャート付き。

読売新聞 2024/05/12

2024:3./ 255p  
978-4-8026-1457-3

¥2,200〔税込〕



### 内藤実記～歴史と史料～

内藤 政武 著  
えにし書房

平安時代に現れた内藤氏。それぞれの時代にあって、如何なる行動をし、社会に貢献し、あるいは結果的に歴史の表舞台で興亡してきたかを、文書・記録や系図などの史資料を基に抽出し、その足跡をたどる。

読売新聞 2024/05/12

2024:3./ 534p 図版 16p  
978-4-86722-125-9

¥11,000〔税込〕



### 口の立つやつが勝ってこといいのか

頭木弘樹 著  
青土社

どうしても理路整然とは話せない知人、酔うと後悔ばかり話し出す友だち、授業中に夫の死を語りつづける先生…。弱いものたちのなかにこそ、陰影のある物語は生まれてくる。文学紹介者によるエッセイ集。

読売新聞 2024/05/12、毎日新聞 2024/05/25

2024:2./ 269p  
978-4-7917-7599-6

¥1,980〔税込〕



### 北緯43度のコールドケース(講談社文庫 ぶ 93-1)

伏尾 美紀 著  
講談社

博士号取得後、大学を辞めて北海道警察に入った沢村依理子。ある日、未解決の誘拐事件の被害者の遺体が発見される。犯人と思われた男はすでに死亡。その誘拐事件の捜査資料が漏洩し、沢村は漏洩犯としての疑いをかけられて…。

読売新聞 2024/05/19

2024:3./ 475p  
978-4-06-534433-0

¥1,001〔税込〕



### ウイルスはそこにいる(講談社現代新書 2742)

宮坂 昌之/定岡 知彦 著  
講談社

ウイルスとは何か。ウイルスに感染すると、なぜ病気になるのか。ウイルスとうまく共存するには。免疫学者とウイルス学舎が、ウイルスとヒトのからだの相互作用に関する基本的な知識を解説する。

読売新聞 2024/05/19

2024:4./ 220p  
978-4-06-534694-5

¥1,012〔税込〕





### 35年目のラブレター

小倉 孝保 著  
講談社

読み書きができないまま社会に出た西畑保さん。劣等感を抱きながらも手に職をつけ、結婚して子育てをし、そして還暦を過ぎて夜間中学で学び始めた。愛する妻にラブレターを書くために-。映画となった、ある夫婦の感動の実話。

読売新聞 2024/05/19

2024:4./ 284p  
978-4-06-534849-9

¥1,980〔税込〕



9 78 4065348499



### アジア人物史<12> アジアの世紀へ

青山 亨、伊東 利勝、小松 久男、重松 伸司、妹尾 達彦、成田 龍一、古井 龍介、三浦 徹、村田 雄二郎、李 成市 編

集英社

古代から21世紀へと駆け巡った人物たちの評伝を積み重ねて描く本格的アジア通史。12は、20~21世紀の歴史人物たちを、テーマごとに、主人公、副主人公、彼らに関連するその他の人物に分けて解説する。

読売新聞 2024/05/19

2024:4./ 1045p  
978-4-08-157112-3

¥4,510〔税込〕



9 78 4081571123



### 贖罪(新潮文庫 マ-28-5)

イアン・マキューアン 著  
新潮社

まだ戦争が始まる前、地方の旧家で暮らしていた私にとって、世界は無限に開けていた。あの暑い夏の日が来るまでは-。いくつかの誤解、取り返しのつかぬ事件、戦争と欺瞞。無垢な少女が狂わせてしまった生を描く大河小説。

読売新聞 2024/05/19

2019:1./ 637p  
978-4-10-215725-1

¥990〔税込〕



9 78 4102157251



### 英語の読み方<リスニング篇> 話し言葉を聴きこなす(中公新書 2797)

北村一真 著  
中央公論新社

ニュースや映画予告編、著名人や首相・国王のスピーチなど「本物の英語」を教材に、読む力を鍛え、話す英語の本質とリスニング力向上のポイントを指南。音声英語を聴く力が身につく。音声動画を視聴できる QR コード付き。

読売新聞 2024/05/19

2024:3./ 5p,217p  
978-4-12-102797-9

¥924〔税込〕



9 78 4121027979



### ウイルス学者さん、うちの国ヤバイので来てください。(中公新書ラクレ 808)

古瀬祐気 著  
中央公論新社

医療資源の乏しいフィリピン、防護服や注射針を使いまわすアフリカ、コロナ対策で不夜城と化した霞が関...。型にはまらぬ方法でウイルスと闘う医師のアウトブレイク奮闘記。医療ポータルサイト『m3.com』連載を加筆修正。

読売新聞 2024/05/19

2024:1./ 214p  
978-4-12-150808-9

¥924〔税込〕



9 78 4121508089



### 歴史に消えたパトロン〜謎の大富豪、赤星鉄馬〜(中公文庫 よ 58-2)

与那原恵 著  
中央公論新社

武器商人の父の遺産で日本初の学術財団「啓明会」を設立し、芦ノ湖にアメリカからブラックバスを移入。日本ゴルフの草創期を牽引し、朝鮮半島では広大な牧場を経営…。何も書き残さず姿を消した富豪、赤星鉄馬の一生を追う。

読売新聞 2024/05/19

2024:3./ 445p  
978-4-12-207501-6

¥1,430〔税込〕



### テレビドラマは時代を映す(ハヤカワ新書 024)

岡室 美奈子 著  
早川書房

テレビは時代を映す鏡。当代随一のテレビ見巧者が、70年にわたるテレビ史の流れも踏まえながら「私たちのドラマ」を熱く語る。『毎日新聞』連載に書き下ろしを加えて新書化。

読売新聞 2024/05/19

2024:4./ 220p  
978-4-15-340024-5

¥1,100〔税込〕



### ヤメ銀〜銀行を飛び出すバンカー〜(文春新書 1448)

秋場 大輔 著  
文藝春秋

エリート会社員の象徴でありながら、時代の激波に洗われてきた日本のバンカーたち。銀行を飛び出したバンカーたちの言葉から時代ごとの彼らの自画像を浮き彫りにし、変化の軌跡が環境変化に相応しいものだったのかを検証する。

読売新聞 2024/05/19

2024:3./ 286p  
978-4-16-661448-6

¥1,155〔税込〕



### 戦略外交原論〜A Grand Strategy of Japan for the 21st Century〜

兼原 信克 著  
日本経済新聞出版社

国益の考え方から、国際情勢の戦略的判断、国益を実現するための日本の選択まで、第一線の外交官が、エピソードとデータを駆使して、縦横無尽に講義する国家戦略論。

読売新聞 2024/05/19

2011:4./ 12,498p  
978-4-532-13405-1

¥3,960〔税込〕



### 世界を震撼させた女毒殺者たち<上> クレオパトラからベル・ガネスまで

リサ・ペリン 著  
原書房

世界の女性毒使いたちは、なぜ毒を用いて犯行に及んだのか。動機を大別し、事件の背景や彼女たちの生涯、用いた毒の種類、後に与えた影響などを紹介する。上巻は、ロクスタ、クレオパトラ、ベル・ガネスらを収録。

読売新聞 2024/05/19

2024:3./ 193p  
978-4-562-07401-3

¥2,420〔税込〕





## 世界を震撼させた女毒殺者たち<下> カトリーヌ・ド・メディシスから武則天まで

リサ・ペリン 著  
原書房

世界の女性毒使いたちは、なぜ毒を用いて犯行に及んだのか。動機を大別し、事件の背景や彼女たちの生涯、用いた毒の種類、後に与えた影響などを紹介する。下巻は、ルクレツィア・ボルジア、武則天らを収録。

読売新聞 2024/05/19

2024:3./ 201p  
978-4-562-07402-0

¥2,420〔税込〕



9 78 4 562 07402 0



## 教養としての「世界史」の読み方(PHP文庫 も31-1)

本村 凌二 著  
P H P 研究所

人類はいかにして生きてきたのか、そこからわれわれは何を学べるのか。古代ローマ史研究の第一人者による世界史講義。グローバルスタンダードの「教養」を身につけるのに必須の「7つの視点」を解説する。

読売新聞 2024/05/19

2024:4./ 379p  
978-4-569-90394-1

¥1,430〔税込〕



9 78 4 569 90394 1



## <他者>からはじまる社会哲学～国家・暴力・宗教・共生をめぐる～

中山 元 著  
平凡社

ルソー、ヘーゲル、ベンヤミン、アレント、メルロ＝ポンティ…。哲学者の思想から他者/社会/国家とのつながりを明らかにし、コロナ禍やウクライナ紛争に揺れる世界を、新たな視点で問い直す。

読売新聞 2024/05/19

2024:4./ 300p  
978-4-582-70369-6

¥3,300〔税込〕



9 78 4 582 70369 6



## ボヘミアンの文化史～パリに生きた作家と芸術家たち～

小倉 孝誠 著  
平凡社

自由奔放で、規範に囚われず気ままな放浪生活を送る若者たち。19世紀前半パリで誕生し、「ボヘミアン」と呼ばれ、その後1世紀にわたり文学と芸術の領域で大きな意義を有した彼らの美学、思想、習俗を浮き彫りにする。

読売新聞 2024/05/19

2024:1./ 319p  
978-4-582-83939-5

¥3,520〔税込〕



9 78 4 582 83939 5



## 柚木沙弥郎 美しい本の仕事～絵と型染から生まれる御伽草子～

柚木沙弥郎／小林真理 著  
パイインターナショナル

型染染色作家で美術家の柚木沙弥郎。日常にある身近なモチーフを基点に、自由な心で型染や水彩画で生み出された、豊かな色彩の装幀や絵本、ポスター、イラストレーションなど、幅広いジャンルの選りすぐりの作品を紹介する。

読売新聞 2024/05/19

2024:2./ 203p  
978-4-7562-5759-8

¥3,080〔税込〕



9 78 4 756 25759 8



**高くてもバカ売れ! なんて?～インフレ時代でも売れる7の鉄則～(SB新書 645)**

川上徹也 著

S Bクリエイティブ

モノが売りにくい時代でも、見せ方や売り方の工夫次第で、ヒット商品・サービスを生み出せる! 2020年春から2023年秋までに「値段が高くてもヒットした商品」を分析し、その秘密を事例を示しながら解き明かす。

読売新聞 2024/05/19

2024:2./ 254p  
978-4-8156-2286-2

¥990〔税込〕



9 78 4815 622862



**近代チベット政治外交史～清朝崩壊にともなう政治的地位と境界～**

小林 亮介 著

名古屋大学出版会

東アジア国際秩序の構造転換を前に、ダライ・ラマ政権は勢力を維持すべくいかに行動したか。そこで主張された「独立」「自治」の意味とは。現代に至るチベット問題の起源を、チベット語を中心とする一次史料に基づき究明する。

読売新聞 2024/05/19

2024:2./ 10p,328p,89p  
978-4-8158-1146-4

¥7,920〔税込〕



9 78 4815 811464



**感情的な日本語～ことばと思考の関係性を探る～**

加賀野井 秀一 著

教育評論社

「以心伝心」など、日本語には多くを語らずとも豊かな意味を伝えられる言い回しが数多くある。日本語の不思議をたどりながら、日本人の世界観を大きく左右している文化の構造、言語メカニズムと思考との関係性を明らかにする。

読売新聞 2024/05/19

2024:2./ 246p  
978-4-86624-094-7

¥1,980〔税込〕



9 78 4866 240947



**源氏物語の時代～一条天皇と后たちのものがたり～(朝日選書)**

山本 淳子 著

朝日新聞社

皇位継承をめぐる政界の権謀術数やクーデター未遂事件、「純愛」ともいえるべき愛情関係…。「源氏物語」を生んだドラマチックな一条朝を、資料や最新の研究成果にもとづいて、実証的かつ立体的な「ものがたり」に紡ぎあげる。

読売新聞 2024/05/26

2007:4./ 290p  
978-4-02-259920-9

¥1,430〔税込〕



9 78 4022 599209



**後期中戦争華北戦線(角川新書 K-449)**

広中 一成 著

KADOKAWA

太平洋戦争開戦後、日本軍は中国でどのような作戦を展開していたのか? 華北戦線の実態を明らかにし、完全敗北へと至る軌跡と要因を描く。2021年刊「後期中戦争-太平洋戦争下の中国戦線」の続編。

読売新聞 2024/05/26

2024:3./ 301p  
978-4-04-082433-8

¥1,056〔税込〕



9 78 4040 824338

背徳のメス 改版(角川文庫)

黒岩 重吾 著

角川書店

読売新聞 2024/05/26

1997:1./ 281p  
978-4-04-126801-8

¥660〔税込〕



恋する文化人類学者～結婚が異文化をつなぐとき～(角川ソフィア文庫 J140-1)

鈴木 裕之 著

KADOKAWA

アフリカで、女性アイドル歌手と恋に落ちた著者。結婚式は8日間にわたる壮麗なものだった。激しい異文化の渦に巻き込まれた著者が、自らの経験を素材として文化人類学へと誘う。補章「ラヴ・ロマンスのゆくえ」も収録。

読売新聞 2024/05/26

2024:3./ 386p  
978-4-04-400808-6

¥1,694〔税込〕



風のように・返事のない電話(講談社文庫)

渡辺 淳一 著

講談社

読売新聞 2024/05/26

1997:10./ 247p  
978-4-06-263613-1

¥513〔税込〕



失樂園<上>(講談社文庫)

渡辺 淳一 著

講談社

凛子と久木はお互いに家庭を持つ身でありながら、真剣に深く愛し合ってゆく。己れの心に従い、育んだ“絶対愛”を純粋に貫こうとする2人。その行きつく先にあるものは……。

読売新聞 2024/05/26

2000:3./ 344p  
978-4-06-264779-3

¥628〔税込〕



失樂園<下>(講談社文庫)

渡辺 淳一 著

講談社

美しい季節の移ろいの中で激しい愛の炎を燃やす凛子と久木。人間の中に潜む底深い性の悦びと妖しさに気づき驚き、周囲から孤立しながらも、永遠に自分の中に相手をとどめておきたいと願う。性愛の極致を描いた男女小説の名作。

読売新聞 2024/05/26

2000:3./ 333p  
978-4-06-264780-9

¥628〔税込〕



立憲民政党史～1927-1940～

井上 寿一／金子 龍司／小山 俊樹／菅谷 幸浩／村井 良太／若月 剛史 著

講談社

昭和初期、危機の時代。日本人は政党政治に希望を託した。戦前政党政治の一方の極、立憲民政党。前史から内閣誕生、解党までを描いた通史篇と、外交、軍事・安全保障などをまとめた政策篇の2部構成でその全体像に迫る。

読売新聞 2024/05/26

2024:2./ 398p  
978-4-06-532227-7

¥3,410〔税込〕





### 人でなしの櫻(講談社文庫 と 61-1)

遠田 潤子 著  
講談社

日本画家の竹井清秀が急な電話に駆けつけると、長らく絶縁したままの天才料理人の父の遺体があり、全裸で震える少女、蓮子がいた。11年にわたり父が密かに匿っていたのだ。激しい嫌悪を覚える一方で、蓮子に惹かれていき...

読売新聞 2024/05/26

2024:4./ 392p  
978-4-06-535139-0

¥902〔税込〕



### 医師たちの独白(集英社文庫 わ 1-51)

渡辺 淳一 著  
集英社

札幌医科大学で行われた心臓移植手術をきっかけに、整形外科講師の椅子を捨て、作家として身をたてるべく単身上京した青年は...。「四月の風見鶏」ほか、未発表作品「祭りの日」を含めた全8編を収めた医療小説集。

読売新聞 2024/05/26

2018:6./ 347p  
978-4-08-745754-4

¥748〔税込〕



### 革命の血

柏木 伸介 著  
小学館

改元前夜の静寂は、元刑事の爆殺で破られた。かつて公安の犬だった<私>と過激派幹部の娘、運命の因果は30年後、国家の謀略をいざない再びめぐり出す...。テキストデータがダウンロードできるQRコード付き。

読売新聞 2024/05/26

2024:2./ 407p  
978-4-09-386703-0

¥2,200〔税込〕



### 花埋み 改版(新潮文庫 わ-1-1)

渡辺 淳一 著  
新潮社

読売新聞 2024/05/26

2009:12./ 563p  
978-4-10-117601-7

¥935〔税込〕



### 化石に眠る DNA～絶滅動物は復活するか～(中公新書 2793)

更科功 著  
中央公論新社

マンモスは蘇るのか。古代DNAの研究を進展させた新技術はどのようなものか。生命を操作することに重大なリスクはないのか。-。科学者たちが織りなしたドラマとともに、起伏に富んだ研究史をたどる。

読売新聞 2024/05/26

2024:2./ 3p,301p  
978-4-12-102793-1

¥1,100〔税込〕





**散歩哲学～よく歩き、よく考える～(ハヤカワ新書 021)**

島田 雅彦 著

早川書房

忙しさにかまける現代人に必要なのは、ほっつき歩きながら考える「散歩哲学」だ！  
散歩を愛する作家・島田雅彦が、新橋の角打ちから屋久島の超自然、ヴェネチアの魚市場まで歩き綴ったエッセイ。

読売新聞 2024/05/26

2024:2./ 221p  
978-4-15-340021-4

¥1,078〔税込〕



**鬼道の女王卑弥呼<上>(文春文庫)**

黒岩 重吾 著

文芸春秋

中国から帰還した倭人の娘ヒミコは、神託を受け乱世の倭国統一に乗り出した。謎の女王の生涯を通して古代史を鮮やかに描きだす

読売新聞 2024/05/26

1999:11./ 376p  
978-4-16-718233-5

¥565〔税込〕



**鬼道の女王卑弥呼<下>(文春文庫)**

黒岩 重吾 著

文芸春秋

読売新聞 2024/05/26

1999:11./ 341p  
978-4-16-718234-2

¥523〔税込〕



**嘘つき姫**

坂崎 かおる 著

河出書房新社

19世紀末アメリカ、死を求める魔女が処刑用電気椅子を用いたショーに臨む「ニューヨークの魔女」、子育て体験キットを育てることになった同性カップルの日常「私のつまと、私のはは」など、新鋭が紡ぐ珠玉の9篇を収録。

読売新聞 2024/05/26

2024:3./ 260p  
978-4-309-03178-1

¥1,870〔税込〕



**さびしさについて(ちくま文庫 う 43-2)**

植本 一子／滝口 悠生 著

筑摩書房

母のこと、子どものこと、社会のこと。気持ちよい正直さと心地よい逡巡にあふれるやりとり…。近所に住む写真家と小説家が、ときに応答しながら、親密な手紙を交わす。自主制作本に、あらたな2往復のやりとりを加えて文庫化。

読売新聞 2024/05/26

2024:2./ 250p  
978-4-480-43939-0

¥902〔税込〕





### ときを感じるお宿図鑑〜スケッチで巡るレトロ建築ガイド〜

ときやど 吉宮 晴紀 著

学芸出版社

古い宿の魅力に取り憑かれ、全国 100 軒以上を巡ってきた著者によるレトロ宿ガイド。日光金谷ホテル、雲仙観光ホテルなど、東北から九州まで、厳選した 35 軒をスケッチと写真で紹介する。データ:2024 年 2 月現在。

読売新聞 2024/05/26

2024:5./ 191p  
978-4-7615-2885-0

¥2,200 [税込]



### 南原繁「戦争」経験の政治学

川口 雄一 著

北海道大学出版会

南原繁の政治思想を、彼の「戦争」経験を重視しつつ内在的に把握し、その思想史的意義を解明。南原の学問・思想が、日本政治思想史上、どのように位置づけられるかを問う。

読売新聞 2024/05/26

2024:3./ 358p  
978-4-8329-6896-7

¥8,800 [税込]



### サメと救世主

日野原慶 編

カワイ・ストロング・ウォッシュバーン 著

書肆侃侃房

サメに救われた少年には奇跡の力が宿りはじめる。これは真実か、はたまたイカサマか？ ハワイとアメリカ本土を舞台に、息子ナイノアが手にした力によって大きなうねりに巻きこまれる、ある家族の波乱にみちた運命を描く。

読売新聞 2024/05/26

2024:3./ 419p  
978-4-86385-616-5

¥2,640 [税込]



### 紅流〜女講談師として生きて〜

神田 紅 著

クラーケンラボ

文学座研究生、女優を経て、講談の世界へ。型破りな芝居講談や創作講談で老若男女を魅了してきた女講談師・神田紅が、その強くしなやかな生き方を赤裸々に語る。

読売新聞 2024/05/26

2024:4./ 235p  
978-4-910315-38-6

¥1,760 [税込]



### 史記列伝<1>(ワイド版岩波文庫 392)

司馬 遷／小川 環樹／今鷹 真 著

岩波書店

宰相、武将、循吏、酷吏、刺客、俠客、素封家等のしたたかな生きざまを躍動する筆致で描く、「史記」の最後に置かれた七十の列伝。1 は、伯夷列伝第一から春申君列伝第十八までを収録する。

日本経済新聞 2024/05/04

2015:11./ 313p  
978-4-00-007392-9

¥1,430 [税込]





**巨匠とマルガリータ<上>(岩波文庫 赤 648-2)**

ブルガーコフ 著

岩波書店

物語のつばで待つのは何か？ 春のモスクワに降り立つ悪魔、灼熱のゴルゴタと名無し  
の巨匠。首は転がり、黒猫はしゃべり、ルーブル札は雨と降る…。ブルガーコフが  
遺した 20 世紀ロシア最大の奇想小説。

日本経済新聞 2024/05/04

2015:5./ 444p  
978-4-00-326482-9

¥1,177 [税込]



**巨匠とマルガリータ<下>(岩波文庫 赤 648-3)**

ブルガーコフ 著

岩波書店

裸で飛び立つモスクワの夜、アパートではじまる悪魔の大舞踏会。マルガリータの愛  
に、ユダヤ総督の 2 千年の苦悩に許しは訪れるのか？ ブルガーコフが遺した 20 世紀  
ロシア最大の奇想小説。

日本経済新聞 2024/05/04

2015:6./ 404p  
978-4-00-326483-6

¥1,122 [税込]



**ソクラテスの弁明 クリトン(岩波文庫 青 601-1)**

プラトン 著

岩波書店

自己の所信を力強く表明する法廷のソクラテスを描いた『ソクラテスの弁明』。死刑  
の宣告を受けた後、国法を守って平静に死を迎えようとするソクラテスと、脱獄を勧  
める老友クリトンとの獄中の対話『クリトン』。ともにプラトン初期の作であるが、  
芸術的にも完璧に近い筆致をもって師ソクラテスの偉大な姿を我々に伝えている。

日本経済新聞 2024/05/04

1950:10./ 136p  
978-4-00-336011-8

¥572 [税込]



**国家<上> 改版(岩波文庫 青 601-7)**

プラトン 著

岩波書店

ソクラテスは国家の名において処刑された。それを契機としてプラトンは、師が説き  
つづけた正義の徳の実現には人間の魂の在り方だけでなく、国家そのものを原理的に  
問わねばならぬと考えるに至る。

日本経済新聞 2024/05/04

2009:9./ 510p  
978-4-00-336017-0

¥1,474 [税込]



**国家<下> 改版(岩波文庫 青 601-8)**

プラトン 著

岩波書店

日本経済新聞 2024/05/04

2008:12./ 552p  
978-4-00-336018-7

¥1,540 [税込]





**開かれた社会とその敵<第1巻上> プラトンの呪縛(岩波文庫 青 N607-1)**

カール・ポパー 著  
岩波書店

左右の全体主義と理論的に対決し、その思想的根源をえぐり出す、カール・ポパーの大著。第1巻では、大哲学者プラトンを玉座から引きずりおろすとともに、民主主義の基礎を解明する。

日本経済新聞 2024/05/04

2023:2./ 514p  
978-4-00-386025-0

¥1,507〔税込〕



**開かれた社会とその敵<第1巻下> プラトンの呪縛(岩波文庫 青 N607-2)**

カール・ポパー 著  
岩波書店

左右の全体主義と理論的に対決し、その思想的根源をえぐり出す、カール・ポパーの大著。第1巻では、大哲学者プラトンを玉座から引きずりおろすとともに、民主主義の基礎を解明する。本書成立の物語も収録。

日本経済新聞 2024/05/04

2023:4./ 488p  
978-4-00-386026-7

¥1,430〔税込〕



**開かれた社会とその敵<第2巻上> にせ予言者(岩波文庫 青 N607-3)**

カール・ポパー 著  
岩波書店

左右の全体主義と理論的に対決し、その思想的根源をえぐり出す、カール・ポパーの大著。第2巻では、アリストテレス、ヘーゲルの哲学を論難。階級なき社会が到来するという予言論証を崩壊させ、マルクスを徹底的に指弾する。

日本経済新聞 2024/05/04

2023:7./ 552p  
978-4-00-386027-4

¥1,573〔税込〕



**開かれた社会とその敵<第2巻下> にせ予言者(岩波文庫 青 N607-4)**

カール・ポパー 著  
岩波書店

左右の全体主義と理論的に対決し、その思想的根源をえぐり出す、カール・ポパーの大著。第2巻では、アリストテレス、ヘーゲルの哲学を論難。階級なき社会が到来するという予言論証を崩壊させ、マルクスを徹底的に指弾する。

日本経済新聞 2024/05/04

2023:10./ 506p  
978-4-00-386028-1

¥1,573〔税込〕



**<一人前>と戦後社会~対等を求めて~(岩波新書 新赤版 2010)**

禹 宗杭、沼尻 晃伸 著  
岩波書店

弱い者が<一人前>として、他者と対等にふるまうことで創り上げた現代社会。向上にこだわり、ありのままの人を認めないまま、生きづらい現在にいたる長い歴史と、転換の予兆を描く。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:3./ 280p  
978-4-00-432010-4

¥1,166〔税込〕





## 老化のプログラムを書き換える!～年齢の固定観念を打ち破り、より長く健康で生きる～

Becca Levy 著

講談社

ポジティブな年齢観が寿命を延ばす! 寿命には栄養と運動以外に大きな影響を与える要素があることを発見した著者が、その元凶「エイジズム=年齢差別」が個々の健康に与える影響と、その改善方法を解明する。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:1./ 382p  
978-4-06-534322-7

¥2,420 [税込]



9 78 40 65 34 32 27



## 私たちの近現代史～女性とマイノリティの100年～(集英社新書 1207)

村山 由佳、朴 慶南 著

集英社

戦争と植民地、災害と虐殺が日本社会に与えた影響、女性への差別…。シベリア抑留体験のある父を持つ村山由佳と、祖父が関東大震災で殺されかけ、自らも様々な差別を経験してきた朴慶南が、この国の100年を語り尽くす。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:3./ 270p  
978-4-08-721307-2

¥1,078 [税込]



9 78 40 87 21 30 72



## あきらめる

山崎 ナオコーラ 著

小学館

近所を散歩するのが日課の早乙女雄大。思い悩みながら歩いていると、親子風の2人組に出会う。親に見える人は思い詰めた表情で「自分の人生をあきらめたい」と言う…。先入観の鎖から解放されて、自分を明らかにする物語。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:3./ 334p  
978-4-09-380129-4

¥1,980 [税込]



9 78 40 93 80 12 94



## ソクラテスからSNS～「言論の自由」全史～

ヤコブ・ムシャンガマ 著

早川書房

古代ギリシアの広場で、奴隷制廃止の戦いの場で、ファシズム前夜の欧州で、SNS全盛のネット空間で…。人類3000年の歴史を俯瞰し、言論・出版・表現の自由が果たしてきた役割を追い、その意義を問い直す。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:3./ 572p  
978-4-15-210315-4

¥5,390 [税込]



9 78 41 52 10 31 54



## もう明日が待っている

鈴木 おさむ 著

文藝春秋

メンバーの脱退、結婚、5人旅、東日本大震災発生10日後の生放送、そして、あの生放送…解散…。20年以上国民的グループに伴走してきた放送作家が最後に贈る、涙と希望の物語。『文藝春秋』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:3./ 277p  
978-4-16-391821-1

¥1,980 [税込]



9 78 41 63 91 82 11



**推しの殺人(宝島社文庫 このミス大賞 C え-7-1)**

遠藤 かたる 著

宝島社

大阪で活動する3人組女性地下アイドルは、様々な問題を抱えて危機的な状況にあった。そのなかで、メンバーのひとりが事務所で人を殺してしまう。彼女の罪を隠蔽するため、3人は死体を山中に埋めることを決意し....。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:2./ 333p  
978-4-299-05113-4

¥789 [税込]



**サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>(河出文庫 ハ 15-4)**

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

アフリカでほぼそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2024/05/04

2023:11./ 352p  
978-4-309-46788-7

¥1,089 [税込]



**サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>(河出文庫 ハ 15-5)**

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか？ その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2024/05/04

2023:11./ 396p  
978-4-309-46789-4

¥1,089 [税込]



**労働法はフリーランスを守れるか～これからの雇用社会を考える～(ちくま新書 1782)**

橋本 陽子 著

筑摩書房

労災保険が適用されない、最低賃金未満の報酬、長時間労働の規制対象外、失業時の補償がない...。欧米各国の動向も視野に、フリーランスの「労働者性」を問いなおし、多用な働き方を包摂するこれからの雇用社会を考える。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:3./ 266p  
978-4-480-07612-0

¥1,012 [税込]



**ギボン自伝(ちくま学芸文庫)**

エドワード・ギボン 著

筑摩書房

日本経済新聞 2024/05/04

1999:12./ 446p  
978-4-480-08503-0

¥1,485 [税込]





## 私たちはどこから来て、どこへ行くのか～生粋の文系が模索するサイエンスの最先端～(ちくま文庫 も 19-2)

森 達也 著  
筑摩書房

私たちはなぜ生きて、なぜ死ぬのか。進化とはどういうものか。科学は何を信じるのか…。福岡伸一、池谷裕二、村山斉ら、最先端で闘う科学者たちに森達也が「いまの科学にわかること/わからないこととは何か」を問う。

日本経済新聞 2024/05/04

2020:10./ 443p  
978-4-480-43689-4

¥1,045 [税込]



## 母娘短編小説集(平凡社ライブラリー 964)

利根川 真紀 編  
フラナリー・オコナー、ポビー・アン・メイスン他 著  
平凡社

アメリカの女性作家たちによって 19 世紀末から 20 世紀末にかけて執筆された短編小説集。「自然にもとる母親」「善良な田舎の人たち」「暮れがた」など、母と娘の連帯や葛藤、愛や裏切りを主題にした全 9 編を収録する。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:4./ 349p  
978-4-582-76964-7

¥1,980 [税込]



## 21 世紀の戦争と政治～戦場から理論へ～

エミール・シン普森 著  
みすず書房

戦争の目的とは、戦闘で<敵>に勝てば達成されるのか。戦争が政治の直接の手段と化している現在、その概念は更新されなければならない。戦争という概念を現代の文脈から、特にアフガニスタン紛争との関わりで論じる。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:3./ 408p  
978-4-622-09673-3

¥4,950 [税込]



## アジアの独裁と「建国の父」～英雄像の形成とゆらぎ～

根本 敬/粕谷 祐子 編  
彩流社

毛沢東、金日成、ホー・チ・ミン、アウンサン、スカルノ…。独裁体制を維持するための正統性シンボルに活用されたこれらの「建国の父」像は、各国の体制によってどのように継承され、変容していったのかを検討する。

日本経済新聞 2024/05/04

2024:2./ 337p  
978-4-7791-2954-4

¥3,080 [税込]



## 日本人はどのように森をつくってきたのか

コンラッド・タットマン 著  
築地書館

古代と近世、二度の大きな略奪の危機に直面しつつ、政治的・自主的な規制と人工造林によりドイツと共に持続的林業の先駆けとなった日本。列島の人と森の歴史的関わりを全体像を鮮明にした「通史」。

日本経済新聞 2024/05/04

1998:8./ 200p,11p  
978-4-8067-2240-3

¥3,190 [税込]





### パインと移民～沖縄・石垣島のパイナップルをめぐる「植民地化」と「土着化」のモノグラフ～

廣本 由香 著  
新泉社

石垣島では戦前から台湾などの移民がパイナップル生産に取り組んできた。社会的排除や尊厳の毀損を受けてきた移民一世と二世が、パインの生産を通して固有性を形成し、地域との関係を築いてきたことについて考える。

日本経済新聞 2024/05/04、朝日新聞 2024/05/25

2024:2./ 333p,21p  
978-4-7877-2304-8

¥3,850〔税込〕



### ぼくは始祖鳥になりたい(集英社文庫 み 35-2)

宮内 勝典 著  
集英社

超能力少年として知られたジローは 22 歳。NY の研究機関で軟禁状態となるが、訪れた天文学者ニューマンの導きで脱出し、自らの足で新たな一歩を踏み出す。旅の果てに彼を迎えるのは...?

日本経済新聞 2024/05/11

2023:1./ 615p  
978-4-08-744483-4

¥1,320〔税込〕



### 出会いはいつも八月

ガブリエル・ガルシア＝マルケス 著  
新潮社

毎年 8 月の母の命日にカリブ海の島を訪れる 46 歳のアナ。アナは島で母の死を癒してくれる一夜限りの男を探し…。ノーベル文学賞作家ガルシア・マルケスが、認知症によって執筆できなくなる直前まで情熱を注いだ最後の未完作。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:3./ 122p  
978-4-10-509021-0

¥2,420〔税込〕



### 三千円の使いかた(中公文庫 は 74-1)

原田 ひ香 著  
中央公論新社

「人は三千円の使いかたで、人生が決まるよ」突然の入院、離婚、介護費…。御厨家の女性たちは、人生の節目とピンチを乗り越えるため、お金をどう貯めて、どう使うのか。知識も深まる「節約」家族小説。

日本経済新聞 2024/05/11

2021:8./ 349p  
978-4-12-207100-1

¥770〔税込〕



### マシュマロ・テスト～成功する子・しない子～(ハヤカワ文庫 NF 500)

ウォルター・ミシェル 著  
早川書房

美味しいお菓子を食べるのを先のばしできる子は何が違う？ 自制心に関する「マシュマロ・テスト」の考案者が、被験者のその後を半世紀にわたって追跡調査し、人間の本質の不思議を語る。

日本経済新聞 2024/05/11

2017:6./ 382p  
978-4-15-050500-4

¥990〔税込〕





### 死を弄ぶ少年(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 517-1)

ネイサン・オーツ 著  
早川書房

両親を亡くした17歳の甥マシューを引き取った大学教授ギルバート。6年前にある事件を起こした彼を、妻と娘は受け入れるが、マシューはギルバートの創作講義に現れ、娘の死を想像させる小説を発表し...

日本経済新聞 2024/05/11

2024:4./ 447p  
978-4-15-186051-5

¥1,584〔税込〕



### 中国不動産バブル(文春新書 1452)

柯隆 著  
文藝春秋

中国不動産バブルの崩壊は金融、行政、政治システムへと飛び火し、やがては共産党統治体制をひっくり返す要因にもなり得る。バブル形成から崩壊まで、複雑怪奇な中国不動産バブルの構造を分かりやすく解説する。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:4./ 245p  
978-4-16-661452-3

¥1,100〔税込〕



### 武器化する経済～アメリカはいかにして世界経済を脅しの道具にしたのか～

ヘンリー・ファレル/アブラハム・ニューマン 著  
日経BP社

半導体技術からドル決済まで、新しい「武器」で世界を脅す米国、そして反撃する中国、欧州。経済安全保障から世界の真実を読み解く。今後、日本企業が取るべき戦略を示した日本語版解説も収録。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:3./ 343p  
978-4-296-00169-9

¥2,750〔税込〕



### はじめのテレビ～戦後マスメディアの創造と知～

松山 秀明 著  
人文書院

1950年代～60年代、放送草創期のテレビは無数の可能性に満ちた映像表現の実験場だった。番組、産業、制度、放送学などあらゆる側面から、初期テレビが生んだ創造と知を、膨大な資料をもとに検証する。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:3./ 554p  
978-4-409-24159-2

¥5,500〔税込〕



### 僕たちはまだ、インフレのことを何も知らない～デフレしか経験していない人のための物価上昇2000年史～

スティーヴン・D・キング 著  
ダイヤモンド社

政府のインフレ容認は「絶望」の始まり？インフレが生み出す「勝ち組」「負け組」の特徴とは？欧州最大の銀行HSBCの上級経済顧問による、おカネの価値が減り続ける時代の経済サバイバルガイド。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:3./ 319p  
978-4-478-11863-4

¥1,980〔税込〕





## きみのお金は誰のため〜ボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」〜

田内学 著  
東洋経済新報社

「お金自体には価値がない」「お金で解決できる問題はない」「みんなでお金を貯めても意味がない」 お金の謎を解いたとき、世界の見え方が変わった-。学校では教えてくれない「お金と社会の本質」がわかる経済教養小説。

日本経済新聞 2024/05/11

2023:10./ 247p  
978-4-492-04735-4

¥1,650〔税込〕



## 幼児教育の経済学

ジェームズ・J.ヘックマン 著  
東洋経済新報社

なぜ幼少期に積極的に教育すべきなのか?早い時期からの教育で、人生がどう変わるのか?子供の人生を豊かにし、効率性と公平性を同時に達成できる教育を、経済学の世界的権威が徹底的に議論する。

日本経済新聞 2024/05/11

2015:6./ 127p  
978-4-492-31463-0

¥1,760〔税込〕



## 「学力」の経済学

中室 牧子 著  
ディスカヴァー・トゥエンティワン

子どもをご褒美で釣ってはいけないの?子どもはほめて育てるべきなの?ゲームは子どもに悪い影響があるの?教育経済学者がデータを用いて、教育や子育てに関する思い込みを覆す。

日本経済新聞 2024/05/11

2015:6./ 199p  
978-4-7993-1685-6

¥1,760〔税込〕



## 無能より邪悪であれ〜ピーター・ティール シリコンバレーをつくった男〜

マックス・チャフキン 著  
サンクチュアリ・パブリッシング (サンクチュアリ出版)

シリコンバレーをつくった投資家、ピーター・ティール。関係者を丹念に取材し、その実像に迫ると共に、彼との関わりの中で、マーク・ザッカーバーグやイーロン・マスクといったテック業界の大物たちのストーリーも描く。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:4./ 429p  
978-4-8014-8501-3

¥1,980〔税込〕



## 祝福二世〜信仰を捨てた元統一教会信者の告白〜(論創ノンフィクション048)

宮坂日出美 著  
論創社

両親が統一教会の合同結婚式を通じて「祝福」を受けた家庭に生まれた「祝福二世」の半生とは。韓国の寄宿舎で暮らした中学・高校時代から信仰を維持できなくなった経緯まで、克明に綴る。『カクヨム』掲載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:3./ 228p  
978-4-8460-2265-5

¥1,980〔税込〕





### 埃だらけのすももを売ればよい〜ロシア銀の時代の女性詩人たち〜

高柳聡子 著  
書肆侃侃房

詩集とはある世界観の具現であった。ロシア文学におとずれた興隆期「銀の時代」(1890～1920年代)。ペテルブルクの本屋で偶然見つけた詩集を手がかりに、100年前の15人の女性詩人たちのことばを拾い上げる。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:2./ 181p  
978-4-86385-604-2

¥2,200〔税込〕



### 明日、ぼくは店の棚からヘイト本を外せるだろうか

福嶋 聡 著  
d Z E R O

およそ10年間、「ヘイト本」という現象をめぐって「書店の役割」を自問自答しつづけてきた著者が、60冊を超える書物から言葉を引きながら、自問自答の軌跡を披歴する。dZERO ホームページ連載を加筆・再構成。

日本経済新聞 2024/05/11

2024:2./ 444p  
978-4-907623-67-8

¥3,300〔税込〕



### 古生物学者と40億年(ちくまプリマー新書 455)

泉 賢太郎 著  
筑摩書房

40億年に及ぶ地球環境や生命進化の歴史を明らかにする古生物学。化石や地層に刻まれた情報からだけでなく、現在の生物を観察したり、数理モデルを駆使したり、さまざまなアプローチで挑む古生物学の研究現場を紹介する。

日本経済新聞 2024/05/11、産経新聞 2024/05/26

2024:4./ 254p  
978-4-480-68480-6

¥990〔税込〕



### GOING ZERO(小学館文庫 マ10-1)

アンソニー・マクカーテン 著  
小学館

CIAと巨大IT企業<ワールド・シェア>社が準備を進める犯罪者追跡システムの実用化。1か月間逃げ切れれば3百万ドルが入るという条件で10人の参加者を集め、実証実験<GOING ZERO>βテストを開始するが...

日本経済新聞 2024/05/18

2024:5./ 509p  
978-4-09-407202-0

¥1,298〔税込〕



### 愛の試み 改版(新潮文庫)

福永 武彦 著  
新潮社

日本経済新聞 2024/05/18

2005:6./ 163p  
978-4-10-111506-1

¥473〔税込〕





## 日本列島はすごい〜水・森林・黄金を生んだ大地〜(中公新書 2800)

伊藤孝 著  
中央公論新社

変化に富んだ気候が豊かな資源を生み、国土を潤す日本列島。時空を超えて島国の成り立ちと形を一望し、水、火、塩、森、鉄、黄金が織りなした日本列島史を読みなおし、天災から命を守り、資源を活かす暮らしの醍醐味を語る。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:4./ 4p,238p  
978-4-12-102800-6

¥1,012〔税込〕



## AIに勝つ数学脳

ジュネイド・ムビン 著  
早川書房

あなたの脳に眠る、概算・推論・想像といった「数学的知性」を覚醒させよう。人工知能(AI)全盛の時代に最も必要とされる「数学的知性」の全体像を解説する。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:2./ 324p  
978-4-15-210307-9

¥3,080〔税込〕



## 戦争とロジスティクス

石津朋之 著  
日経BP社

戦争のプロはロジスティクスを語り、戦争の素人は戦略を語る。シュリーフェン計画、ロンメルとの戦い、ノルマンディ上陸作戦、湾岸戦争などを題材に、物資の流れを支配する力がいかに勝敗を左右するかを語る。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:2./ 262p  
978-4-296-11905-9

¥2,640〔税込〕



## あらしの白ばと

芦辺 拓 編  
西條 八十 著  
河出書房新社

ペルーから来た老人、謎の純金人形、少女を狙うギャングたち、恐ろしい毒へび、地下室での監禁、とんでもない秘密兵器…。絶対絶命の危機に、正義の少女たちが立ち向かう! 伝説の元祖美少女アクションを復活。

日本経済新聞 2024/05/18

2023:7./ 342p  
978-4-309-03119-4

¥3,850〔税込〕



## 返らぬ日(河出文庫 よ9-6)

吉屋 信子 著  
河出書房新社

あたしはただ、そのもののあなたを、愛して愛して愛しぬいてゆきたいの。女学校で出会い、惹かれあう彌生とかつみの愛を描いた表題作など、愛と友情に揺れる少女たちを描いた短篇集。エッセイ「同性を愛する幸い」も収録。

日本経済新聞 2024/05/18

2023:7./ 221p  
978-4-309-41973-2

¥979〔税込〕





**挑発する少女小説(河出文庫 さ 50-1)**

斎藤 美奈子 著  
河出書房新社

大人になって読む少女小説は、新たな発見に満ちている。あの名作には、いったい何が書かれていたのか? 「小公女」「若草物語」「ハイジ」「赤毛のアン」「あしながおじさん」など、翻訳少女小説9冊を読み直す。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:4./ 269p  
978-4-309-42094-3

¥946〔税込〕



**トークの教室〜「面白いトーク」はどのように生まれるのか〜(河出新書 073)**

藤井 青銅 著  
河出書房新社

フリートーク、エピソードトーク、掴みに切り口、語り口…。放送作家としてラジオの仕事も多く手がけ、芸人やタレントなどいろいろなパーソナリティーのトークの壁打ち役を務めてきた著者が、面白いトークのやり方を伝える。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:2./ 245p  
978-4-309-63175-2

¥990〔税込〕



**小説 上杉鷹山<上>(人物文庫)**

童門冬二 著  
学陽書房

日本経済新聞 2024/05/18

1995:11./ 370p  
978-4-313-75001-2

¥726〔税込〕



**小説 上杉鷹山<下>(人物文庫)**

童門冬二 著  
学陽書房

日本経済新聞 2024/05/18

1995:11./ 347p  
978-4-313-75002-9

¥726〔税込〕



**子ども若者抑圧社会・日本〜社会を変える民主主義とは何か〜(光文社新書 1301)**

室橋祐貴 著  
光文社

変化の激しい時代に旧来の価値観で政治が行われ、閉塞感が漂う日本。先進諸国で若い政治リーダーが台頭している中、なぜ日本だけ変わらないのか。若者が参加できる民主主義のあり方を示す。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:3./ 238p  
978-4-334-10250-0

¥946〔税込〕



**失敗の本質〜日本軍の組織論的研究〜**

戸部良一 著  
ダイヤモンド社

日本経済新聞 2024/05/18

1984:5./ 290p  
978-4-478-37013-1

¥3,097〔税込〕





### 山柁(ちくま文庫 18-1)

野溝 七生子 著

筑摩書房

身を犠牲にする母と姉への愛、暴力をふるう父への愛憎、読書への切なる欲求、古代ギリシャ神話への憧憬…。家父長制や結婚への圧力など不自由な世界と、葛藤する誇り高く瑞々しい少女の精神を描いた自伝的小説。

日本経済新聞 2024/05/18

2023:12./ 458p  
978-4-480-43922-2

¥1,320 [税込]



### 石狩少女(ちくま文庫 も 30-1)

森田 たま 著

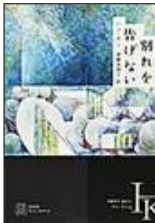
筑摩書房

明治末の北海道札幌。文学を愛し、空を眺めることが好きな女学生、悠紀子は、勝手な噂や男子学生からの執着、決められた結婚、家族の無理解などに悩む。そんななか内地に行くことになり…。1940年刊行の少女小説。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:1./ 223p  
978-4-480-43931-4

¥880 [税込]



### 別れを告げない(エクス・リブリス)

ハン・ガン 著

白水社

私の経験したことのすべてが結晶になる-。いま生きる力を取り戻そうとする女性同士が、済州島4・3事件を生き延びた母親の知られざる情熱をたどり、再生に向かう愛の物語。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:4./ 321p  
978-4-560-09091-6

¥2,750 [税込]



### マチズモの人類史～家父長制から「新しい男性性」へ～

イヴァン・ジャブロンカ 著

明石書店

男らしさとはつねに歴史の産物にすぎない。フランスの歴史学者が、旧石器時代からの歴史をたどりつつ、男性性がいかに構築されてきたかを検証。時代遅れの家父長制に訣別し、あらゆる人々の自由と平等を説く変革の書。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:3./ 446p  
978-4-7503-5710-2

¥4,730 [税込]



### スペシャルティコーヒーの経済学

カール・ウィンホールド 著

亜紀書房

スペシャルティコーヒーに代表される倫理的かつ持続可能な方途とは？長年コーヒー業界全般の諸問題に向き合ってきた著者が、脆弱なステークホルダー(零細生産者)に焦点を当て、コーヒー業界の現状と未来を説く。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:4./ 486p  
978-4-7505-1833-6

¥3,080 [税込]





### 脳科学で解く心の病～うつ病・認知症・依存症から芸術と創造性まで～

エリック・R・カンデル 著

築地書館

自閉スペクトラム症、うつ病・不安障害、統合失調症・双極性障害…。哲学と認知科学、脳神経科学が融合して誕生した「新しい心の科学」によって、心の本質がどこまで解明されたのかを、心の病(精神疾患)という視点から記す。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:4./ 357p  
978-4-8067-1664-8

¥3,520 [税込]



### ワーク・シフト～孤独と貧困から自由になる働き方の未来図<2025>～

リンダ・グラットン、池村 千秋 著

プレジデント社

2025年、私たちはどんなふうにいるだろう？主体的に未来を築くにはどうすればいいのか？未来に関する最大限の情報と知識を紹介し、職業生活を切り開くためのヒントを提示する。

日本経済新聞 2024/05/18

2012:8./ 386p,26p  
978-4-8334-2016-7

¥2,200 [税込]



### アートワーカーズ～制作と労働をめぐる芸術家たちの社会実践～

ジュリア・ブライアン＝ウィルソン 著

フィルムアート社

1960年代アメリカで、自らを芸術労働者<アートワーカーズ>と定義することでアクションを起こしたアーティスト・批評家たち。その先駆的でラディカルな試みの実相を鮮やかに描きつつ、今日的な意義を問い直す。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:3./ 345p,63p  
978-4-8459-2308-3

¥4,180 [税込]



### 日本風土記～金時鐘詩集～<2>

金 時鐘 著

藤原書店

対岸が黄になると 男は 反射的に 左へ移行した。すれちがいざま 市電が スパークを発生し 前方は 青にとって変わったが 忽然と 男が消えた。(「穴」より)60年の時を経て出版された、金時鐘の幻の第3詩集。

日本経済新聞 2024/05/18

2022:3./ 154p  
978-4-86578-338-4

¥1,980 [税込]



### 遊園地と都市文学～アメリカン・メトロポリスのモダニティ～

坪野圭介 著

小鳥遊書房

街灯、交通機関、集合住宅は、急激に発展した産業都市に住む人間に何をもたらしたのか。遊園地が最初に隆盛した世紀転換期のアメリカ文学作品を検討し、産業都市に生きる人間を規定する文化/環境/身体の相互作用を捉え直す。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:3./ 294p  
978-4-86780-040-9

¥3,520 [税込]





### さようなら大江健三郎こんにちは

司 修 著  
鳥影社

約半世紀にわたり、大江作品の装丁・装画・挿絵などを担当し、家族ぐるみでの付き合いのあった著者が、知られざるエピソード、書簡、対談や、自身の半生、大江作品から引用を交え、大江文学の創作の背景とその心髄に迫る。

日本経済新聞 2024/05/18

2024:3./ 293p  
978-4-86782-077-3

¥2,420 [税込]



### 働く幸せ～仕事でいちばん大切なこと～

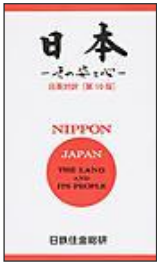
大山 泰弘 著  
WAVE出版

なぜ、この会社は、こんなに温かいのか?知的障害者が社員の7割を占める日本理化学工業の会長が、彼らに導かれてきた人生と会社の歩みを紹介しつつ、仕事でいちばん大切な「働く幸せ」について語る。

日本経済新聞 2024/05/18

2009:7./ 191p  
978-4-87290-419-2

¥1,540 [税込]



### 日本～その姿と心～ 第10版 新訂版

日鉄住金総研 著  
日鉄技術情報センター

日本を、日本人がもっとよく知り、世界に伝えよう-。日本の政治・経済・社会や地理・歴史、文化から科学技術、東日本大震災までを和英対照で紹介する。見返しに地図あり。

日本経済新聞 2024/05/18

2016:12./ 479p  
978-4-930825-30-8

¥2,420 [税込]



### さまよえる神剣

玉岡 かおる 著  
新潮社

小楯家の次男・有綱は、承久の変に敗れ隠岐に流される後鳥羽上皇を警護する最中、上皇寵愛の伊賀局から謎めいた使命を受ける。それを源平合戦の際、壇ノ浦で失われた三種の神器の剣を探すことと理解した有綱は…。

日本経済新聞 2024/05/18、毎日新聞 2024/05/25

2024:4./ 461p  
978-4-10-373718-6

¥2,420 [税込]



### 啓蒙の弁証法～哲学的断想～(岩波文庫 青 692-1)

M.ホルクハイマー、T.W.アドルノ 著  
岩波書店

〈啓蒙〉の光と闇を理論的軸に、オデュッセイア論、サド論で具体的に神話の寓意や道徳の根拠を検証。アメリカ大衆文化や反ユダヤ主義批判によって近代の傷口を暴き、現代の課題を示した。

日本経済新聞 2024/05/25

2007:1./ 550p  
978-4-00-336921-0

¥1,452 [税込]





### ケアの倫理～フェミニズムの政治思想～(岩波新書 新赤版 2001)

岡野 八代 著  
岩波書店

ひとはケアなしでは生きていけない。ではケアをするのは誰なのか。男性の論理で構築された社会のなかで、女性たちが自らの声で語り、自らの経験から編み出したフェミニズムの政治思想、ケアの倫理を第一人者が詳説する。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:1./ 342p  
978-4-00-432001-2

¥1,364 [税込]



### 感染症の歴史学(岩波新書 新赤版 2004)

飯島 渉 著  
岩波書店

パンデミックは世界を変えたのか。最新の知見をふまえて、天然痘、ペスト、マリアアの歴史を振り返り、ポスト・コロナ社会への教訓を探る。パンデミックの記録と記憶を掘り起こし、未来を考えるための疫病史入門。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:1./ 228p  
978-4-00-432004-3

¥946 [税込]



### 暴力とポピュリズムのアメリカ史～ミリシアがもたらす分断～(岩波新書 新赤版 2005)

中野 博文 著  
岩波書店

人民主権理念に基づいた国づくりを支え、時に反乱の母体となった「ミリシア」。憲法修正第二条を盾にする「ミリシア」から見た、現代アメリカの暴力文化とポピュリズムの起源をたどる異色のアメリカ通史。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:1./ 234p  
978-4-00-432005-0

¥1,034 [税込]



### 百人一首～編纂がひらく小宇宙～(岩波新書 新赤版 2006)

田淵 句美子 著  
岩波書店

「百人一首」は、誰によって、何の目的で作られたのか。成立の背景やアンソロジーとしての特色を解きほぐし、中世から現代までの受容のあり方を考えることで、和歌のすべてを網羅しているかのような求心力の謎に迫る。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:1./ 262p  
978-4-00-432006-7

¥968 [税込]



### スタートアップとは何か～経済活性化への処方箋～(岩波新書 新赤版 2013)

加藤 雅俊 著  
岩波書店

創業間もない企業「スタートアップ」に対する社会の態度がいま問われている。アカデミックな知見に基づきその実態を見定め、不確実性とリスクを負担し勝者になる可能性のある「挑戦者」への適切な支援を考える。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:4./ 302p  
978-4-00-432013-5

¥1,232 [税込]





### 日本語と漢字～正書法がないことばの歴史～(岩波新書 新赤版 2015)

今野 真二 著  
岩波書店

日本語を視覚化することを超え、ことばそのものに影響を与えつづけてきた漢字。「万葉集」の時代から近代まで、漢字の歴史をたどり、文字化の選択肢が複数ある、魅力的なことばを再発見する。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:4./ 248p  
978-4-00-432015-9

¥1,034 [税込]



### ノルマンディ戦の六カ国軍～D デイからパリ解放まで～

ジョン・キーガン 著  
中央公論新社

第二次世界大戦の大転換となった史上最大の作戦、ノルマンディ上陸作戦。名将たちの思惑と作戦立案の経緯、様々な民族の気質を考察し、米独軍をはじめ、イギリス・カナダ・ポーランド・フランス軍の各部隊の来歴と奮闘を描く。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:3./ 469p  
978-4-12-005760-1

¥3,960 [税込]



### Mine!～私たちが支配する「所有」のルール～

マイケル・ヘラー／ジェームズ・ザルツマン 著  
早川書房

所有のルールが目に見えない形で選択、行動、ビジネスをいかに支配し、現在の生活にどのような影響を及ぼしているのか。リクライニングシートの攻防から土地争い、戦争まで、法学者コンビが所有権の驚くべき真実を明かす。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:3./ 382p  
978-4-15-210317-8

¥2,310 [税込]



### 空飛ぶ悪魔に魅せられて～謎の猛禽フォークランドカラカラをめぐる旅～

ジョナサン・マイバーグ 著  
青土社

1833年、チャールズ・ダーウィンはフォークランド諸島で出会った鳥に驚かされた。人間を恐れず、好奇心旺盛で、いたずら好き。「空飛ぶ悪魔」とも呼ばれたフォークランドカラカラの魅力と発見にあふれた物語。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:3./ 500p  
978-4-7917-7637-5

¥4,180 [税込]



### 現代英語基礎語辞典

杉田 敏 著  
集英社インターナショナル

pen は筆記用具ではない。zoo も動物園とは限らない。1文字～4文字語から成る、ネイティブスピーカーにとっての短い基本語「基礎語」の現代的な用法を、豊富な例文、イディオムと共に集録する。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:3./ 333p  
978-4-7976-7443-9

¥2,200 [税込]





### 忘却の効用～「忘れること」で脳は何を得るのか～

スコット・A・スモール 著

白揚社

認知機能、創造力、メンタルヘルス、人格形成、そして記憶にも、「忘れること」が必要だった。神経生物学、医学、心理学、コンピューター科学などの分野の知見から、脳の機能としての<忘却>にまつわる驚きの発見を描く。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:5./ 253p  
978-4-8269-0258-8

¥3,080〔税込〕



### 海と路地のリズム、女たち～モザンビーク島の切れては繋がる近所づきあい～

松井梓 著

春風社

モザンビーク島の女性たちの近所づきあいには、親密さを求める身構えと、その関係の終わりを淡々と見送るドライな身構えが併存している。女性たちの半径 20 メートルの日常で繰り広げられる実践を描く民族誌。

日本経済新聞 2024/05/25

2024:4./ 321p,15p  
978-4-86110-954-6

¥5,500〔税込〕



### 再生～西鉄バスジャック事件からの編み直しの物語～

山口 由美子 著

岩波書店

2000年5月3日、佐賀駅から福岡天神行きの西鉄高速バスが17歳の少年にバスジャックされ、1人が死亡、2人が負傷した。事件に遭遇した著者が、加害少年との交流、自らの人生の生き直しを綴る。

毎日新聞 2024/05/04

2024:4./ 7p,210p  
978-4-00-061638-6

¥2,200〔税込〕



### むかし話(ヤングジャンプコミックス)

本宮 ひろ志 著

集英社

長きに亘って受け継がれてきた数多くの民話からは、時代時代の歴史的バックグラウンドや時勢、戒め、金言、ときに反面教師などが読み取れる。“人間の業”を描き続けてきた本宮ひろ志が、いま改めて描破する、“本宮流”オムニバス民間説話!

毎日新聞 2024/05/04

2024:2./ 264p  
978-4-08-893045-9

¥924〔税込〕



### 車輪の下 改版(新潮文庫 へ-1-3)

ヘルマン・ヘッセ 著

新潮社

ひたむきな自然児であるだけに傷つきやすい少年ハンスは、勉強にうちこみ、神学校の入学試験に通るが、そこでの生活は少年の心理を踏みじめる規則づくめなものだった。彼は学校を去って見習い工として出なおそうとし…。

毎日新聞 2024/05/04

2015:6./ 304p  
978-4-10-200103-5

¥440〔税込〕





### 決断の太平洋戦史～「指揮統帥文化」からみた軍人たち～(新潮選書)

大木 毅 著  
新潮社

太平洋戦争に参戦した各国の指揮官や参謀たちは、いかなるエリート教育を受けたのか。「指揮統帥文化」という新たな視座から、日米英 12 人の人物像と戦歴を再検証する。『波』連載に書き下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2024/05/04

2024:3./ 218p  
978-4-10-603907-2

¥1,760〔税込〕



### ヤマトタケルの日本史～女になった英雄たち～

井上章一 著  
中央公論新社

ヤマトタケルは女装で敵をだまし、討ちはたす。日本人はこの皇子を民族の英雄として語りついでいる。建国神話から義経伝説、帝国軍人まで、敵を悩殺する日本史の英雄たちを自在に訪ね、性の日本文化史を描き出す。

毎日新聞 2024/05/04

2024:2./ 334p  
978-4-12-005754-0

¥2,420〔税込〕



### 私たちが分断するバイアス～マイサイド思考の科学と政治～

キース・E・スタノヴィッチ 著  
誠信書房

人々は自分が持つ信念に合致するようにエビデンスを評価し、自分は常に正しいと考えてしまう。このバイアスの特徴、影響、食い止める方法などを解説し、分断をもたらす人々の思考を明らかにする。

毎日新聞 2024/05/04

2024:2./ 9p,241p  
978-4-414-30639-2

¥2,970〔税込〕



### 北斎時代の「絵手本」で「絵皿」を解く<花・七福神の巻>

河村 通夫 著  
淡交社

「花」「七福神」をテーマにした江戸時代の絵皿を、同時代に生きた葛飾北斎を中心とした絵師たちの絵手本と比べながら絵解きし、その絵の由来や故事などを解説する。

毎日新聞 2024/05/04

2024:3./ 239p  
978-4-473-04576-8

¥2,640〔税込〕



### 翻訳に生きて死んで～日本文学翻訳家の波乱万丈ライフ～

クォン・ナミ 著  
平凡社

冗談じゃなく、本気で仕事に“翻訳死”するかと思った。村上春樹、村上龍、恩田陸など日本文学の韓国語訳を数多く手がける人気翻訳家クォン・ナミが、過酷で楽しい翻訳ライフを綴る。翻訳初心者へのアドバイスも満載。

毎日新聞 2024/05/04

2024:3./ 239p  
978-4-582-83958-6

¥2,750〔税込〕





### 山よりほかに友はなし〜マヌス監獄を生きたあるクルド難民の物語〜

ベフルーズ・ブチャーニー／オミド・トフィギアン 著

明石書店

イラン生まれのクルド人ジャーナリストで難民となった著者は、オーストラリアの悪名高いマヌス島の難民収容所に6年にわたり収容された。国家権力による恐怖と支配にさらされた人々の生を、鋭い観察眼と洞察力で克明につづる。

毎日新聞 2024/05/04

2024:2./ 443p  
978-4-7503-5712-6

¥3,300〔税込〕



9 78 4 7 5 0 3 5 7 1 2 6



### サンリオ出版大全〜教養・メルヘン・SF 文庫〜

小平麻衣子、井原あや、尾崎名津子、徳永夏子 編

小平麻衣子 著

慶應義塾大学出版会

サンリオ創業者の辻信太郎と、詩人のやなせたかしが出会い、抒情とヒューマンイズムの夢をのせた出版事業が走り出す。『詩とメルヘン』『リリカ』やサンリオ SF 文庫など、1960～80年代のサンリオの多彩な文化事業に迫る。

毎日新聞 2024/05/04

2024:2./ 432p  
978-4-7664-2940-4

¥3,960〔税込〕



9 78 4 7 6 6 4 2 9 4 0 4



### 草の譜〜黒木三千代歌集〜

黒木 三千代 著

砂子屋書房

まなぶたを閉じて緋の合歓見るやうな形容詞「愛し」しとしとしたたる うまいもの食はせるだけの家婦となり火はどこかしら遠くで燃ゆる 同人誌や新聞に発表した作品をまとめた第3歌集。

毎日新聞 2024/05/04

2024:1./ 245p  
978-4-7904-1879-5

¥3,300〔税込〕



9 78 4 7 9 0 4 1 8 7 9 5



### ノートル・ダムに残照〜哲学者、森有正の思索から〜

大森 恵子 著

藤原書店

ノートル・ダム寺院を「形を突き抜けた精神の美しさ」と形容した哲学者・森有正。彼の豊かな人間性と難解な思索を、“ある女性の旅”の物語を通じて分かりやすく生き活きと伝える。

毎日新聞 2024/05/04

2023:11./ 328p  
978-4-86578-407-7

¥2,970〔税込〕



9 78 4 8 6 5 7 8 4 0 7 7



### 現代コリア、乱気流下の変容〜2008-2023〜

A・V・トルクノフ／G・D・トロラヤ／I・V・ディヤチコフ 著

作品社

危うい均衡で“休戦”状態が続く朝鮮半島。大国による「操作可能な混沌」の舞台となった南北両国家を、ロシアの碩学がパラレルに分析。核と紛争の時代を読み解く。

毎日新聞 2024/05/04

2024:4./ 347p  
978-4-86793-029-8

¥2,970〔税込〕



9 78 4 8 6 7 9 3 0 2 9 8



### 書いたら燃やせ

シャロン・ジョーンズ 著

海と月社

SNS でなんでも見せ、拡散する時代、あたかも世界が「巨大な告白の場」と化しているこの時代に、本書はあえて「何も共有しない」ことを勧める。この本で次々に繰り出される質問に、ときに考え、ときにインスピレーションに任せながら、とにかく「正直に、答えてみる。

毎日新聞 2024/05/04

2024:3./ 159p  
978-4-903212-84-5

¥1,320〔税込〕



### 雀荘迎賓館最後の夜

大慈 多聞 著

新潮社

雀荘「迎賓館」には、並外れた技量の打ち手が集まる。枯淡の法務事務所オーナー、飲食チェーン取締役、広告会社局長代理、記憶システムが異様な高校教師。敢えて鉄火場に挑んだ国立大生・結城は、強者達の雀卓を凌げるのか-

毎日新聞 2024/05/05

2024:4./ 249p  
978-4-10-355591-9

¥1,980〔税込〕



### 俺たちの箱根駅伝<上>

池井戸 潤 著

文藝春秋

2年連続で箱根駅伝の本選出場を逃した崖っぷちチーム、古豪・明誠学院。4年生の主将・隼斗にとって、10月の予選会が最後の挑戦となる。絶対に負けられない戦いが始まる! 『週刊文春』連載を書籍化。

毎日新聞 2024/05/05

2024:4./ 373p  
978-4-16-391772-6

¥1,980〔税込〕



### 俺たちの箱根駅伝<下>

池井戸 潤 著

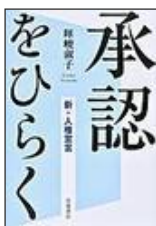
文藝春秋

明誠学院駅伝チームを率いることになった、商社マンで伝説のOB・甲斐。彼が掲げた“規格外”の目標は、メンバーだけではなく、ライバルやマスコミをも巻き込んでゆき…。『週刊文春』連載を書籍化。

毎日新聞 2024/05/05

2024:4./ 331p  
978-4-16-391773-3

¥1,980〔税込〕



### 承認をひらく〜新・人権宣言〜

暉峻 淑子 著

岩波書店

民主主義社会の実現のために、今こそ社会的相互承認と社会参加が求められる。格差社会の拡大と自己責任・個人化が進む社会の中であって、いかに連帯し、民主主義の空洞化に対抗していくかを、生活の営みの中から解きほぐす。

毎日新聞 2024/05/11

2024:4./ 264p  
978-4-00-061636-2

¥2,530〔税込〕





### 情報哲学入門(講談社選書メチエ 793)

北野 圭介 著  
講談社

目覚めてから眠りにつくまで「情報」と無縁で暮らすことはできない。「情報」とはいったい何なのか? 情報という摩訶不思議な存在をめぐって、「今」の理論を一望し、「未来」への生存戦略を提示する。

毎日新聞 2024/05/11

2024:1./ 266p  
978-4-06-534597-9

¥1,980 [税込]



### 休むヒント。

群像編集部 編  
講談社

休みなよって言われても、どうすればいい? 働き方改革時代、ワークライフ“アン”バランスな人々へ贈る休み方の処方箋。伊沢拓司、角田光代、蓮實重彦、益田ミリなどのエッセイを収録。『群像』掲載に書き下ろしを加える。

毎日新聞 2024/05/11

2024:4./ 203p  
978-4-06-535068-3

¥1,430 [税込]



### 「笑っていいとも!」とその時代(集英社新書 1206)

太田 省一 著  
集英社

日本人にとって「笑っていいとも!」とは何だったのか。1982年から2014年まで、約32年間にわたり放送された人気番組を深掘りし、テレビと戦後日本社会をとらえ直す。ウェブ『論座』連載を加筆し新書化。

毎日新聞 2024/05/11

2024:3./ 235p  
978-4-08-721306-5

¥1,034 [税込]



### 中国農村の現在〜「14億分の10億」のリアル〜(中公新書 2791)

田原史起 著  
中央公論新社

家族の発展を何より重視する精神、末端幹部たちの奮闘、裏金が飛び交う村の選挙、習近平政権が進める都市化の本当の意味…。1990年代末から中国各地の農村でフィールドワークを重ねてきた著者が、その実態に迫る。

毎日新聞 2024/05/11

2024:2./ 5p,287p  
978-4-12-102791-7

¥1,056 [税込]



### 精選女性随筆集 石井桃子 高峰秀子(文春文庫 編 22-8)

川上 弘美 編  
石井 桃子、高峰 秀子 著  
文藝春秋

子ども達のために奔走した児童文学の第一人者・石井桃子。一家の働き手として働き通しの子役時代から、その鋭い眼差しで周囲を見ていた女優・高峰秀子。才気溢れる2人がのこした、豊かな表現力で紡がれた情感溢れる随筆集。

毎日新聞 2024/05/11

2024:4./ 273p  
978-4-16-792208-5

¥1,100 [税込]





### 対決

月村了衛 著  
光文社

ある医大が入試の採点過程で女子の点数を意図的に下げている。新聞記者の檜葉菊乃は理事の神林晴海に目をつける。男性優位の社会で、共に無数の理不尽に直面してきた2人の闘いの行方は…。『ジャーロ』連載を単行本化。

毎日新聞 2024/05/11

2024:4./ 316p  
978-4-334-10298-2

¥1,980〔税込〕



### 翻訳とパラテキスト〜ユングマン、アイスネル、クンデラ〜

阿部 賢一 著  
人文書院

文化資本が異なる言語間の翻訳をめぐる葛藤とは？近代チェコ語の祖ユングマン、ユダヤ系翻訳家アイスネル、亡命作家クンデラを取り上げ、ボヘミアにおける文芸翻訳の様相を翻訳研究の観点から解明する。

毎日新聞 2024/05/11

2024:3./ 344p  
978-4-409-16101-2

¥4,950〔税込〕



### 黄色い部屋の謎 新版(創元推理文庫)

ガストン・ルルー 著  
東京創元社

毎日新聞 2024/05/11

2008:1./ 422p  
978-4-488-10803-8

¥968〔税込〕



### 房思琪の初恋の樂園(白水 U ブックス 251)

林 奕含 著  
白水社

高雄の高級マンションに住む13歳の文学好きな美少女・房思琪。下の階に住む憧れの妻子ある50代の国語教師に作文を見せに行き強姦され、その関係から抜け出せなくなり…。台湾社会を震撼させた、実話に基づく長篇。

毎日新聞 2024/05/11

2024:3./ 329p  
978-4-560-07251-6

¥1,980〔税込〕



### 生と死を分ける翻訳〜聖書から機械翻訳まで〜

アンナ・アスラニアン 著  
草思社

重大局面における翻訳は、自分の命や世界の命運がかかる、命懸けの行為である。世界の歴史を決定づけた数々の名訳・迷訳エピソードを通して、翻訳・通訳の本質を伝える。

毎日新聞 2024/05/11

2024:2./ 336p  
978-4-7942-2697-6

¥2,750〔税込〕





### 40歳から凡人として生きるための文学入門

森川慎也 著  
幻戯書房

カズオ・イシグロの面白さ、平凡な読者のための文学の読み方、文化・文学・人生と意味付与の関係についての考察…。凡人を自負する文学研究者が、自身の半生を振り返りながら、屈託ない凡人の生活と意見を綴る。

毎日新聞 2024/05/11

2024:3./ 190p  
978-4-86488-295-8

¥2,640〔税込〕



### 昭和ぐらしで令和を生きる～27人の<部屋・モノ・ファッション>403カット～

石黒 謙吾 編  
平山 雄 著

303 BOOKS

家具や電化製品から小物類まで、すべてのものを昭和時代製で揃え、完全に昭和の家庭を再現して暮らしている著者の自宅を全面公開。友人たちの昭和ファッションと昭和ルーム、ショップなども紹介する。

毎日新聞 2024/05/11

2024:4./ 157p  
978-4-909926-34-0

¥1,870〔税込〕



### 大人のための印象派講座

三浦 篤 著  
新潮社

革新的画家グループ、印象派の知られざる実像とは。印象派にまつわる女性、金銭、思想、制度、受容などにつながる諸テーマを掘り下げる。図版200点以上を掲載。『芸術新潮』連載を加筆修正。

毎日新聞 2024/05/11、産経新聞 2024/05/12

2024:3./ 259p,8p  
978-4-10-355581-0

¥3,410〔税込〕



### なぜ働いていると本が読めなくなるのか(集英社新書 1212)

三宅 香帆 著  
集英社

「仕事と趣味が両立できない」という苦しみは、いかにして生まれたのか。労働と読書の歴史をひもとく、日本人の「仕事と読書」のあり方の変遷を辿り、日本の労働の問題点を明らかにする。

毎日新聞 2024/05/18

2024:4./ 285p  
978-4-08-721312-6

¥1,100〔税込〕



### DJヒロヒト

高橋 源一郎 著  
新潮社

JRAK、こちらパラオ放送局…。謎のDJのトークが昭和史と文学史と奇想を巧みにリミックスし、ヒロヒトと南方熊楠、森鷗外ら戦前・戦中期の文化人たちとの密かな絆を謳いあげる長篇小説。『新潮』連載に加筆修正。

毎日新聞 2024/05/18

2024:2./ 645p  
978-4-10-450803-7

¥4,180〔税込〕





### 苦しくて切ないすべての人たちへ(新潮新書 1037)

南 直哉 著  
新潮社

恐山の禅僧が、生老病死に本音で寄り添い、「仕方なく、適当に」「万事を休息せよ」「死んだ後のことは放っておけ」など、心の重荷を軽くする人生訓を伝える。修行時代のことやよい宗教・わるい宗教についても語る。

毎日新聞 2024/05/18

2024:4./ 238p  
978-4-10-611037-5

¥902〔税込〕



### AIを生んだ100のSF(ハヤカワ新書 023)

宮本 道人／宮本 裕人 編  
大澤 博隆／宮本 道人／宮本 裕人 著

早川書房

日本を代表する各世代の著名な AI 研究者らにインタビューし、「2001年宇宙の旅」といった名作から AI の開発への SF の影響と今後の展望を探る。『SF マガジン』連載に、松尾豊x安野貴博の対談などを追加し新書化。

毎日新聞 2024/05/18

2024:4./ 350p  
978-4-15-340023-8

¥1,166〔税込〕



### 父の詫び状(文春文庫)

向田 邦子 著  
文芸春秋

だれの胸の中にもある父のいる懐かしい家庭の息遣いをユーモアを交じえて見事に描き出し、“真打ち”と絶賛されたエッセイの最高傑作。また、生活人の昭和史としても評価が高い。航空機事故で急逝した著者の第一エッセイ集。

毎日新聞 2024/05/18

2006:2./ 300p  
978-4-16-727721-5

¥726〔税込〕



### みんなのお墓

吉村萬壺 著  
徳間書店

裸になる快感を追い求める主婦。夜コンビニに出ることだけが日課の引きこもり男性…。悩みを抱えつつも必死に生きる彼らは、なぜ「内藤家之墓」に引き寄せられてしまうのか。それぞれの「墓参り」のカタチを描く群像劇。

毎日新聞 2024/05/18

2024:3./ 198p  
978-4-19-865800-7

¥2,090〔税込〕



### マネーモンスター(カラ売り屋シリーズ)

黒木 亮 著  
幻冬舎

資産の過大計上、契約書類の改ざん、巧妙な口車で投資家を蹂躪するマネーモンスターたちに、ウォール街のカラ売り専門ファンドが次々と宣戦布告! 全3話を収録。

『小説幻冬』連載に書き下ろしを加え単行本化。

毎日新聞 2024/05/18

2024:4./ 495p,21p  
978-4-344-04242-1

¥2,090〔税込〕





### 卒母のためにやってみた50のこと～思春期の子どもを持つ母必携!～

田中 千絵 著  
大和書房

子どもが思春期になったら卒母準備。家事シェアの段取りから自分の時間の作り方で、過剰な「母」という役割を終わらせて、家族みんなの自立・自律を目指すための50のアイデアを、やわらかい絵と文で綴る。

毎日新聞 2024/05/18

2024:4./ 239p  
978-4-479-78604-7

¥1,760〔税込〕



9 784479 786047



### カフカふかふか～とっておきの名場面集～

下園 りさ/木田 綾子 著  
白水社

魅力的なキャラがいっぱい登場し、出だしも面白い。描かれる世界は謎だらけ。そんなカフカ作品のとっておきの場面と、それをどう読んだのかを、カフカ研究会の研究者が紹介する。

毎日新聞 2024/05/18

2024:3./ 185p  
978-4-560-09280-4

¥1,980〔税込〕



9 784560 092804



### 我々の死者と未来の他者～戦後日本人が失ったもの～(国際新書 137)

大澤 真幸 著  
集英社インターナショナル

なぜ日本人は、気候変動問題に対する関心が低いのか。日本人が切り捨ててきた<我々の死者>、そして<未来の他者>をキーワードに、過去・未来と現在との「分断」の正体を暴く。『kotoba』連載を加筆し書籍化。

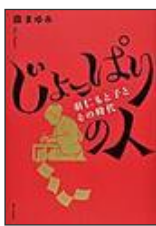
毎日新聞 2024/05/18

2024:4./ 252p  
978-4-7976-8137-6

¥1,034〔税込〕



9 784797 681376



### じょっぱりの人～羽仁もと子とその時代～

森 まゆみ 著  
婦人之友社

明治、大正、昭和を生きた女性、羽仁もと子。草創期の女性記者となり、夫と協力して今に続く雑誌を創刊。家計簿を広め、自由学園を起こし…。近代女性史に大きな足跡を残した羽仁もと子の伝記。『婦人之友』連載を書籍化。

毎日新聞 2024/05/18

2024:4./ 431p  
978-4-8292-1039-0

¥3,300〔税込〕



9 784829 210390



### やまと言葉の人間学

竹内 整一 著  
ペリカン社

やさしさ、なつかしさ、ただしさ、あわれ…。今なお使われているいくつかの“やまと言葉”を取り上げ、その言葉の成り立ってきた由来をたどり、より深い含意を古典や小説などから引用した文例とともに解説する。

毎日新聞 2024/05/18

2024:3./ 291p  
978-4-8315-1662-6

¥3,300〔税込〕



9 784831 516626



### SOON~氷の橋を目指すシロクマ~

丹葉暁弥 著

トゥーヴァージンズ

あの氷の橋を渡れば、喜びに満ちた世界があることを知っている-。カナダの大自然の中で撮影した雄大なシロクマの写真の他、長年大切に撮り続けたシロクマの写真に心あたまる日英表記のストーリーを併記した写真集。

毎日新聞 2024/05/18

2024:2./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-910352-99-2

¥1,980 [税込]



### 名言・失言の近現代史<上> 1868-1945(歴史文化ライブラリー 591)

村瀬 信一 著

吉川弘文館

答弁中にキレる大臣、開戦を躊躇う天皇、悪ふざけで内閣をゆさぶった日陰者。近代史を彩る政治家たちの個性ゆたかな「ことば」を繙けば、政治の面白さが見えてくる。名言・失言を軸に、近代通史を見通す。

毎日新聞 2024/05/18、日本経済新聞 2024/05/25

2024:4./ 6p,248p

978-4-642-05991-6

¥1,980 [税込]



### 名言・失言の近現代史<下> 1946-(歴史文化ライブラリー 595)

村瀬 信一 著

吉川弘文館

与野党とも内紛に明け暮れ、「怨みつらみ」が渦巻く戦後政界。なぜ西尾末広は首相の座を蹴り、何が田中角栄を天才たらしめたのか。宮沢喜一の首を絞めた「らしくない」発言とは。「ことば」が語る、現代政治の内幕。

毎日新聞 2024/05/18、日本経済新聞 2024/05/25

2024:5./ 6p,239p

978-4-642-05995-4

¥1,980 [税込]



### 往生要集入門~悲しき者の救い~(講談社学術文庫 2806)

石田 瑞麿 著

講談社

自身を含む多くの罪深い者が救われる道を模索した源信の「往生要集」。源信なくしては、法然も親鸞もなかった。日本の信仰の根幹をなす浄土思想の原点を、仏教学の泰斗が平易な訳で紹介しつつ解き明かす。

毎日新聞 2024/05/25

2024:2./ 254p

978-4-06-534843-7

¥1,210 [税込]



### 2022年のモスクワで、反戦を訴える

マリーナ・オフシャンニコワ 著

講談社

ウクライナ戦争が始まって間もない2022年3月14日、ロシアのニュース番組の生放送中に「戦争反対」と書いた紙を広げて反戦行動を起こした著者。世界を驚かせたニュース番組への乱入から決死の国外脱出までを綴った手記。

毎日新聞 2024/05/25

2024:5./ 292p

978-4-06-535905-1

¥1,980 [税込]





## 津波の木

畠山 直哉 著  
小学館

大災害のその後の時間を、地域や人はどう過ごしてゆけばよいのか。東日本大震災から7年。岩手県陸前高田市で生まれ育った畠山直哉が、太平洋沿岸部に残る、津波の痕跡をとどめる樹木を捜して撮影した写真集。

毎日新聞 2024/05/25

2024:3./ 139p  
978-4-09-682449-8

¥7,700〔税込〕



## パンテオン～新たな古代ローマ宗教史～

イェルク リュプケ 著  
東京大学出版会

古代地中海世界で宗教はいかに生まれたのか。人びとが神々に呼び掛け、帰属意識をもって実践する“生きられた宗教”が自立的に機能する状態=パンテオンが形成される過程を、民衆の宗教観、生活の様子から描きだす。

毎日新聞 2024/05/25

2024:3./ 612p  
978-4-13-016046-9

¥7,920〔税込〕



## 小さくも重要ないくつかの場面(エクス・リブリス)

シルヴィー・ジェルマン 著  
白水社

父の再婚で新たに兄姉ができたり。一人が命を落とし、家族を次々と悲劇が襲う。リリは自分の居場所にたどり着けるのか。知りたかった秘密は明らかになるのか。自分自身や周りの人間と向き合うことの尊さを詩的に静謐に描く。

毎日新聞 2024/05/25

2024:5./ 222p  
978-4-560-09092-3

¥3,080〔税込〕



## 地域医療の経済学～医療の質・費用・ヘルスリテラシーの効果～

井伊雅子 著  
慶應義塾大学出版会

地域医療の視点から、人々が安心して暮らしていくためにはどんな情報やサービスが必要かを丁寧に解説。診療や医師の「質」の問題、医療情報の開示、国民の健康に対する理解度など、国際比較を交え斬新な切り口から検討する。

毎日新聞 2024/05/25

2024:4./ 22p,376p  
978-4-7664-2958-9

¥3,300〔税込〕



## この街で夢をかなえる～エンタメで地方を元気にするリンゴミュージックの挑戦～

堀米 薫 著  
くもん出版

芸能経験ゼロ、資金ゼロ、スタッフゼロからスタートし、農業活性化アイドル「りんご娘」を生み育ててきたリンゴミュージック。「田舎臭さとカッコよさ」を全面に押し出し、挑みつづけた大人たちの物語。

毎日新聞 2024/05/25

2024:5./ 223p  
978-4-7743-3446-2

¥1,650〔税込〕





### 貝輪の考古学～日本列島先史時代におけるオオツタノハ製貝輪の研究～

忍澤 成視 著  
新泉社

装身具に使われた貝を調べることで、当時の習俗・社会形態・交易ルートなど様々なものがみえてくる。古代人のプレスレット「貝輪」を対象に、先史時代の人々と貝との関わりを、考古学的な資料と生物学的なデータから論じる。

毎日新聞 2024/05/25

2024:3./ 381p  
978-4-7877-2305-5

¥13,200〔税込〕



### 完訳 7つの習慣～人格主義の回復～

スティーブン・R.コヴィー、フランクリン・コヴィー・ジャパン 著  
キングベアー出版

人々の生活や人間関係の効果を向上させる「7つの習慣」を紹介。私生活や職場の生活等を取り上げ、そこにおける「自立」と「相互依存」双方の大切さを伝える。ジェームス・スキナー講演の映像を収めた CD-ROM 付き。

毎日新聞 2024/05/25

2013:8./ 40p,521p  
978-4-86394-024-6

¥2,420〔税込〕



### 小窓の灯り～わたしの歩いた道～(ノア叢書 17)

宇佐美 斉 著  
編集工房ノア  
毎日新聞 2024/05/25

2024:4./ 211p  
978-4-89271-383-5

¥2,200〔税込〕



### 伴走者は落ち着けない～精神科医斎藤学と治っても通いたい患者たち～(叢書クロニック)

インベカマリ★／インベカマリ★／インベカマリ★ 著  
ライフサイエンス出版

性倒錯、摂食障害、窃盗癖...彼ら、彼女らはなぜ斎藤学を必要とし、求め続けるのか。アダルト・チルドレンを提唱した、依存症治療の第一人者、精神科医・斎藤学。その不可解な人物像と魔術的な治療に迫る渾身のルポ。

毎日新聞 2024/05/25

2024:5./ 268p  
978-4-89775-479-6

¥2,200〔税込〕



### 夏祓～大木満里句集～

大木満里 著  
ふらんす堂

四方からジャズの手拍子星涼し いかり肩いくたび正し春ショール 小町塚ここにもありて曼珠沙華 後篇を読みたくなりし良夜かな 虫の音と息を合はせて寝ねにけり 第1句集。

毎日新聞 2024/05/27

2024:3./ 179p  
978-4-7814-1641-0

¥2,970〔税込〕





**ただごと歌百十首～奥村晃作のうた～(コスモス叢書 第1234篇)**

今井 聡 著

六花書林

くろがねに光れる胸の厚くして鏡の中のわれを憎めり 抑へても抑へても激つ火の海を裡に抱へて生活者われ 出会いから二十余年、師である奥村晃作を慕い、師の背を追った著者が、師の「現代ただごと歌」の魅力を解き明かす。

毎日新聞 2024/05/27

2024:2./ 157p  
978-4-910181-54-7

¥2,200〔税込〕



9 784910 181547



**小さきもの～句集～**

三石 知左子 著

朔出版

おはやうの声やはらかに花の雲 赤子とて男の子の匂ひ梅雨に入る セーターが制服老舗ステッキ店 秋の灯のちろちろともり琵琶湖岸 2009年から2022年までの作品を収録した第1句集。

毎日新聞 2024/05/27

2024:3./ 201p  
978-4-911090-06-0

¥2,750〔税込〕



9 784911 1090060